

豊田市美術館年報

平成16年度

No.9

目次

常設展

- 4 — 平成16年度第1期常設展示
- 8 — 平成16年度第2期常設展示
- 11 — テーマ展 川俣正 ワーク・イン・プログレス豊田2004
- 13 — 平成16年度第3期常設展示
- 16 — テーマ展 生誕百年 黒田辰秋—開いて観察
- 19 — 平成16年度第4期常設展示
- 22 — テーマ展 2005年愛知万博記念特別展 古代のまなざし：ローマ肖像彫刻の魅力
- 24 — 高橋節郎館常設展示

企画展

- 34 — 生誕100周年記念 アプリケ作家 宮脇綾子の世界
- 41 — 卒寿記念 高橋節郎—漆絵から鎔金へ／1930-60年代—
- 46 — イメージの水位 ナルキッソスをめぐる変容と反射
- 51 — イン・ベッド —生命の美術—
- 55 — 河原温 意識、瞑想、丘の上の目撃者
- 57 — アルテ・ポーヴェラ／貧しい芸術

作品管理

- 61 — 所蔵作品数一覧
- 62 — 平成16年度購入作品・寄贈作品
- 73 — 平成16年度作品貸出実績

教育・普及

- 74 — 講演会、シンポジウム
講座、作品解説会、ギャラリートーク、ワークショップ
- 75 — コンサート、映画上映会、パフォーマンス
- 76 — 作品ガイド・ボランティア
出版、ビデオ制作
小・中学校美術館学習
- 77 — 博物館実習

利用実績

- 78 — 観覧者数、ギャラリー利用状況、図書閲覧室利用者数

評価実績

- 80 — 評価実績計画(案)、定量評価のための自己点検表

組織

- 84 — 組織図
- 85 — 美術品収集委員会
美術館運営協議会
美術館モニター
美術館ボランティア
作品ガイドボランティア

関係法規

- 86 — 豊田市美術館条例
- 87 — 豊田市美術館管理規則

- 89 — 沿革

凡例

・常設展示、企画展示の出品作品および購入作品、寄贈作品のデータは、原則として以下のとおりに記載した。

作家名
作品名
制作年
技法／素材
寸法(縦×横×奥行、高さはH、直径はφで表示、単位cm)
所蔵者

不明な項目は記載していない。また、常設展示と購入作品、寄贈作品における所蔵者「豊田市美術館」の記載も省略した。

平成16年度第1期常設展示

平成16年3月16日(火)ー6月20日(日) 《85日間》

出品作品

展示室1

- 1
草間 彌生
No. AB.
1959年
油彩、カンヴァス
210.3×414.4
- 2
ピエロ・マンゾーニ
無色
1960年
カオリン、髷のあるカンヴァス
80.0×60.0
- 3
狗巻 賢二
作品 92-1
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5
- 4
狗巻 賢二
作品 92-3
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0
- 5
狗巻 賢二
作品 92-4
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0
- 6
狗巻 賢二
作品 92-5
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0
- 7
狗巻 賢二
作品 92-6
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0
- 8
狗巻 賢二
作品 92-7
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0
- 9
狗巻 賢二
作品 92-8
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0

- 10
狗巻 賢二
作品 92-9
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0
- 11
狗巻 賢二
作品 92-10
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0
- 12
狗巻 賢二
作品 92-15
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5
- 13
狗巻 賢二
作品 92-16
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5
- 14
草間 彌生
チェア
1965年
詰めもの入り縫製布、木製椅子
90.0×80.0×85.0
- 15
草間 彌生
無題(イス)
1963年
詰めもの入り縫製布、木製椅子
86.0×40.0×40.0
- 16
ジェームズ・リー・バイヤース
球形の本("Q Is Point")
1990年
大理石
68.0×68.0×68.0
- 17
ローマン・オバルカ
オバルカ 1965/1-∞ デティール 2601104-2626001
1977年
アクリル、カンヴァス
192.0×135.0
- 18
ローマン・オバルカ
オバルカ 1965/1-∞ デティール 3395602-3411010
1981年
アクリル、カンヴァス
192.0×135.0

- 19
ローマン・オバルカ
オバルカ 1965/1-∞ デティール 4968512-4988005
1994年
アクリル、カンヴァス
192.0×135.0
- 20
ギョンター・ユッカー
変動する白の場
1965年
釘、カンヴァス、木、アクリル
150.0×150.0
- 21
曾根 裕
スノウ・ジャンクル
2000年
油彩、カンヴァス
130.8×161.3
- 22
草間 彌生
無題の集積
1963年
ミクストメディア
サイズ可変
寄託作品
- 23
中村 哲也
不知火
1998年
FRP、ウレタン塗料
90.0×175.0×90.0
- 24
中村 哲也
螺鈿潜水艦
1998年
プラスチック、螺鈿
4.0×10.5×2.5
寄託作品
- 25
中村 哲也
タイタニック
1998年
木、蝶の羽
15.0×30.0×13.0
寄託作品
- 26
村上 隆
R. P. (ランドセル・プロジェクト)
1991年
コブラ、タテゴトアザラシ、イワシクジラ、
カイマンワニ、カバ、ダチョウ、ヨシキリザメの皮革
30.0×23.0×20.0(8点)

展示室2

展示室3

- 27
小清水 漸
作業台ー七人と一人の食卓
1990年
ヒノキ、水銀朱、水、トチ、水目桜、シオジ
80.0×230.0×119.0
- 28
小清水 漸
Relief'80-1
1980年
サクラ
198.0×180.0×7.5
- 29
小清水 漸
作業台ー木の帆
1977年
シナ合板
163.0×120.0×145.0
- 30
小清水 漸
マドンナの製図台
1983年
サクラ
77.0×105.0×78.5
- 31
彦坂 尚嘉
P. W. P. 73 (緑神太鼓)
1983年
アクリル、木
62.8×129.0×17.5
- 32
彦坂 尚嘉
P. W. P. 50 (ズーニー・ソング)
1981年
アクリル、木
149.0×109.4×10.7
- 33
彦坂 尚嘉
P. W. P. 8 (森)
1978年
アクリル、木
66.5×107.2×8.3
- 34
古池 大介
奥三河地方
2003年
ビデオインスタレーション
- 35
ジャン・アルブ
灰色の上の黒い形態の星座
1937年
木に着色
80.1×61.1×3.7

展示室4

- 36
ルネ・マグリット
無謀な企て
1928年
油彩、カンヴァス
116.0×81.1
- 37
オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0
- 38
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0
- 39
ウィレム・デ・クーニング
二人の人物
1967年
油彩、カンヴァスに貼った紙
90.8×60.3
- 40
ジャン・デュビュッフェ
存在の漏出
1950年
油彩、イズレル
55.0×46.0
- 41
ジェームズ・アンソール
愛の園
1888年
油彩、カンヴァス
96.0×112.0
- 42
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2
- 43
イヴ・クライン
モノクローム IKB 65
1960年
顔料、合成樹脂、カンヴァス、合板
199.0×152.5
- 44
ルーチョ・フォンターナ
空間概念 N3
1959-60年
ブロンズ
63.5×63.5×64.5

- 45
マックス・エルンスト
子供、馬そして蛇
1927年
油彩、カンヴァス
71.5×82.0
- 46
ジャン・アルブ
ひと、ひげ、へそ
1928-29年
木に着色
79.9×79.3×9.0
- 47
フランシス・ベーコン
スフィンクス
1954年
油彩、カンヴァス
151.0×116.0
- 48
ゲオルク・パゼリッツ
羊
1964年
油彩、カンヴァス
162.3×130.4
- 49
イヴ・タンギー
失われた鐘
1929年
油彩、カンヴァス
64.2×53.2
- 50
A.R. ペンク
密林の理性あるもの
1966年
油彩、カンヴァス
147.0×197.0
- 51
アルベルト・ブリ
赤 プラスチック
1964年
燃焼、プラスチック、カンヴァス
60.0×50.0
- 52
アルマン
カシャバシヤ、シッパイ
1962年
カメラ、木箱
60.0×100.0×22.0
- 53
クリスト
梱包
1961年
南京袋、ロープ、ボード
75.0×60.0×20.0

54
モーリツ・コルネリス・エッシャー
物見の塔
1958年
リトグラフ、紙
46.2×29.5

55
モーリツ・コルネリス・エッシャー
邂逅
1944年
リトグラフ、紙
34.2×46.4

56
モーリツ・コルネリス・エッシャー
反射球体と手
1935年
リトグラフ、紙
31.8×21.3

57
モーリツ・コルネリス・エッシャー
爬虫類
1943年
リトグラフ、紙
33.4×38.5

58
モーリツ・コルネリス・エッシャー
上昇と下降
1960年
リトグラフ、紙
35.5×28.5

59
モーリツ・コルネリス・エッシャー
昼と夜
1938年
木版、紙
39.1×67.7

60
小川 信治
凱旋門
1998年
鉛筆、油、紙
61.0×46.0

61
小川 信治
ピサ-2
2002年
鉛筆、紙
56.0×76.0

展示室5

62
前田 寛治
I子像
1928年
油彩、カンヴァス
90.6×72.8

63
国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩、カンヴァス
66.0×81.3

64
梅原 龍三郎
カンス
1956年
油彩、カンヴァス
49.4×99.4

65
中村 彝
少女の像
1912年頃
油彩、カンヴァス
32.5×23.0

66
佐分 眞
アリス
1927年
油彩、カンヴァス
60.5×50.0

67
速水 御舟
鯉
1922年
鉛筆、紙
54.5×69.5

68
岸田 劉生
麗子洋装之図(青果持テル)
1921年
水彩、紙
50.6×34.6

69
熊谷 守一
高原の秋
1935年頃
油彩、板
37.9×45.5

70
速水 御舟
菊に猫
1922年
膠彩、絹布
130.6×50.1

71
安田 靱彦
波上蔵光
1942年
膠彩、紙
151.0×56.0

72
宮脇 晴
少女の像
1923年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9

73
宮脇 晴
えりまきの少女
1920年
油彩、カンヴァス
45.6×33.2

74
藤田 嗣治
美しいスペイン女
1949年
油彩、カンヴァス
76.0×63.5

75
岸田 劉生
鯉坊主
1922年
油彩、板
40.0×31.8

76
小茂田 青樹
芍薬
1925年
膠彩、絹布
127.0×43.0

77
熊谷 守一
シヂミ蝶
1958年
油彩、板
23.6×32.8

78
川合 玉堂
桃咲く山里
1949年頃
膠彩、絹布
72.5×54.4

79
中村 彝
欄腰のある静物
1923年
油彩、ボードカンヴァス
32.5×23.7

80
村上 華岳
瞻部樹下悉達太子禪定之図
1933年
膠彩、墨、紙
67.3×31.7

81
藤田 嗣治
自画像
1943年
油彩、カンヴァス
23.0×15.0

82
岸田 劉生
自画像
1913年
油彩、カンヴァス
45.6×38.0

83
村上 華岳
反古集
1910-30年代
墨、紙
31.6×30.1、36.2×36.4

84
村上 華岳
牡丹花遊蝶之図
1936年
膠彩、紙
132.1×31.4

85
岸田 劉生
横臥裸婦
1913年
油彩、カンヴァス
45.5×53.0

2階ギャラリー

86
イクムラレイコ
ドローレス
1998-99年
ブロンズ
115.0×35.0×25.0

87
イクムラレイコ
青の中に立って
1999年
油彩、カンヴァス
70.6×70.4×2.4

88
トニー・クラッグ
無題(棚に置いた5本のボトル)
1982年
プラスチック・ボトル
26.0×60.5×11.0

平成16年度第2期常設展示

平成16年6月29日(火)ー9月1日(水) 《57日間》

出品作品

展示室1

1
ピーノ・パスカーリ
麒麟の斬首
1966年
カンヴァス、木
270.0×250.0×250.0

2
プリンキー・パレルモ
無題
1970年
綿布、漂白した綿布、絹、木
200.0×200.0

3
イケムラレイコ
黒の中
1999年
油彩、カンヴァス
110.5×150.5×4.2

4
ギュンター・ユッカー
変動する白の場
1965年
釘、カンヴァス、木、アクリル
150.0×150.0

5
榎倉 康二
無題 No. 1
1980年
油彩、綿布
310.0×740.0

6
ルーチョ・フォンターナ
空間概念
1962年
油彩、カンヴァス
100.0×81.3
寄託作品

展示室4

7
オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0

8
グスタフ・クリムト
オイゲニア・ブリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0

9
ウィレム・デ・クーニング
二人の人物
1967年
油彩、カンヴァスに貼った紙
90.8×60.3

10
ジャン・デュビュッフェ
存在の漏出
1950年
油彩、イゾレル
55.0×46.0

11
ジェームス・アンソール
愛の園
1888年
油彩、カンヴァス
96.0×112.0

12
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2

13
イヴ・クライン
モノクローム IKB 65
1960年
顔料、合成樹脂、カンヴァス、合板
199.0×152.5

14
マックス・エルンスト
子供、馬そして蛇
1927年
油彩、カンヴァス
71.5×82.0

15
ジャン・アルプ
灰色の上の黒い形態の星座
1937年
木に着色
80.1×61.1×3.7

16
ジャン・アルプ
ひと、ひげ、へそ
1928-29年
木に着色
79.9×79.3×9.0

17
フランシス・ペーコン
スフィンクス
1954年
油彩、カンヴァス
151.0×116.0

18
ゲオルク・ハゼリッツ
羊
1964年
油彩、カンヴァス
162.3×130.4

19
ルネ・マグリット
人間の条件
1935年
油彩、カンヴァス
24.0×19.0
寄託作品

20
イヴ・タンギー
失われた鐘
1929年
油彩、カンヴァス
64.2×53.2

21
A.R. ベンク
密林の理性あるもの
1966年
油彩、カンヴァス
147.0×197.0

22
アルベルト・ブリー
赤 プラスチック
1964年
燃焼、プラスチック、カンヴァス
60.0×50.0

23
サルバドール・ダリ
皿のない二つの目玉焼きを背に乗せ、ボルトガ
ルパンのかけらを獣姦しようとしている平凡
なフランス人
1932年
油彩、板
16.0×22.0

24
アルマン
カシャバシヤ、シツパイ
1962年
カメラ、木箱
60.0×100.0×22.0

25
クリスト
梱包
1961年
南京袋、ロープ、ボード
75.0×60.0×20.0

26
宮島 達男
オボジット・サークル
1992年
発光ダイオード、IC、電線、木製パネル
サイズ可変
白石コンテンポラリーアート蔵

展示室5

27
梅原 龍三郎
カンヌ
1956年
油彩、カンヴァス
49.4×99.4

28
猪熊 弦一郎
美しき地下天国
1977年
アクリル、カンヴァス
111.7×96.7

29
猪熊 弦一郎
都市概念
1966年
油彩、カンヴァス
194.0×112.0

30
山口 長男
三ツノ門 A
1949年
油彩、カンヴァス
195.0×300.0

31
和田 英作
高岡風景
1951年
油彩、カンヴァス
61.0×50.0

32
三宅 克己
京都岡崎の寺社
制作年不詳
水彩、紙
23.0×32.0

33
丸山 晩霞
田舎の港
制作年不詳
水彩、紙
31.0×48.0

34
漆原 木虫
ストーンヘンジ
制作年不詳
木版、紙
27.5×40.0

35
漆原 木虫
スコットランドの田舎風景
制作年不詳
木版、紙
30.0×37.0

36
漆原 木虫
木立
制作年不詳
木版、紙
37.5×25.5

37
石川 欽一郎
風景
制作年不詳
水彩、紙
36.4×26.3

38
石川 欽一郎
風景
制作年不詳
水彩、紙
50.0×33.5

39
横山 純生
夏の山
1931年
膠彩、絹布
243.0×187.0

40
大岩 オスカー 幸男
エイジアン・ドラゴン
1995年
アクリル、合板
182.0×546.0

41
松山 忠三
セント・マーティン・ボウネス、ウィンダム
制作年不詳
インク、水彩、紙
17.9×27.0

42
松山 忠三
風景
1945年
水彩、鉛筆、紙
20.7×27.5

43
松山 忠三
トトネス
1939年
水彩、コンテ、紙
28.0×37.0

44
下村 観山
春夏秋冬十二景
大正初期
膠彩、絹布
33.7×27.6

45
会田 誠
あぜ道
1991年
岩絵具、アクリル、和紙
73.0×52.0

展示室6

46
小堀 四郎
ツールの朝
1928年
油彩、カンヴァス
50.0×60.8

47
小堀 四郎
パリ郊外
1929年
油彩、カンヴァス
46.2×53.7

48
小堀 四郎
想ひ
1931年
油彩、カルトン
55.0×46.1

49
小堀 四郎
厨房(アトリエの一隅)
1931年
油彩、カルトン
55.0×46.1

50
小堀 四郎
アトリエにて
1931年
油彩、カンヴァス
73.5×54.2

51
小堀 四郎
黄衣の女
1932年
油彩、カンヴァス
162.2×114.0

52
小堀 四郎
桃
1938年
油彩、カルトン
45.9×55.0

53
小堀 四郎
鶴川風景(夏)
1944年
油彩、カンヴァス
73.0×53.5

川俣正 ワーク・イン・プロGRESS豊田2004

テーマ展示：平成16年6月29日(火)－9月12日(日) 《68日間》 展示室2-3
物見台制作：平成16年8月3日(火)－8月24日(火) 《19日間》 美術館駐車場

川俣正は1999年より、参加者や地域住民とともに木材による構築物を制作する「ワーク・イン・プロGRESS豊田」を行っている。このプロジェクトは、作家の構想したプランに向け進められていくのではなく、そこに関わる様々な出来事により変化していく可能性を持つため、「進行中の」「発展していく」の意味を持つ「ワーク・イン・プロGRESS」という名が与えられている。

2004年には、川俣と参加者が、三週間かけて美術館駐車場に物見台を制作した。この物見台は、2002年のワークショップで選ばれた模型を基に、一年間の準備期間を経て制作されたものである。図面作成、構造設計もすべて参加者の手により進められた。5年が経過したこのプロジェクトは、この地で確かな一つのコミュニティを形成しつつあるようである。



物見台(美術館駐車場)

〈テーマ展示〉

【主催】 豊田市美術館

【出品作品】 2点

〈物見台制作〉

期間：平成16年8月3日(火)－8月24日(火) 《19日間》

場所：美術館駐車場

【主催】 豊田市美術館

【協力】 豊田木材協同組合

【内容】 川俣正と参加者が美術館駐車場に物見台を制作する

【参加者数】 計91人

【関連事業】

「ワーク・イン・プロGRESS豊田2004」報告会

講師：川俣正(作家)

日時：平成16年8月21日(土) 午後3時－午後5時

会場：豊田市美術館 講堂

【印刷物】 ポスター：B2判

カタログ：A4判変形(25.7×18.2cm/40ページ)

【担当学芸員】 能勢陽子 西崎紀衣

54
小堀 四郎
鶴川風景(ひぐらし)
1944年
油彩、カンヴァス
72.5×50.3

55
小堀 四郎
星と雲
1955年
油彩、カンヴァス
45.4×53.2

56
小堀 四郎
大慈大悲
1956年
油彩、カンヴァス
116.7×91.3

57
小堀 四郎
高原の星夜
1961年
油彩、カンヴァス
91.2×117.4

展示室7

58
宮脇 晴
ハンモックの少女
1933年
油彩、カンヴァス
90.9×116.7

59
宮脇 晴
自画像(17才)
1919年
油彩、カンヴァス
45.5×33.3

60
宮脇 晴
子供たちと母
1942年
油彩、カンヴァス
97.0×130.3

61
宮脇 晴
樹上姉弟図
1936年
油彩、カンヴァス
130.0×97.0

62
宮脇 晴
笛
1965年
油彩、カンヴァス
116.7×72.7

63
宮脇 晴
仲田風景
1922年
油彩、カンヴァス
68.3×60.7

64
宮脇 綾子
ごぼう
1986年
アブリケ
49.0×43.3

65
宮脇 綾子
横向きのえび
1982年
アブリケ
53.0×74.5

66
宮脇 綾子
下仁田ねぎ
1986年
アブリケ
49.2×30.2

67
宮脇 綾子
かれい
1955年
アブリケ
35.0×43.0

68
宮脇 綾子
芽の伸びたこんにゃく芋
1985年
アブリケ
94.0×34.0

平成16年度第3期常設展示

平成16年9月7日(火)ー12月26日(日) 《98日間》

出品作品

展示室2

1
ヨーゼフ・ボイス
ジョッキー帽
1985年
フェルト帽、脂肪、絵具、新聞紙
14.5×25.5×17.5

2
プリンキー・パレルモ
無題(セロニアス・モンクに捧げる)
1973年
合板、塗料(黒)、鏡
22.2×89.6×3.2

3
クリスチャン・ボルタンスキー
罨 1970/71
1970-71年
カミソリ、針、布、木、ガラス
39.5×63.5×12.0

4
プリンキー・パレルモ
無題
1970年
綿布、漂白した綿布、絹、木
200.0×200.0

展示室3

5
若林 奮
熱変へII (3rd Stage)
1965, 90年
鉄
101.0×30.0×42.0

6
辻 晉堂
坐像
1952年
石膏
63.0×48.0×50.0

7
マックス・エルンスト
王妃とチェスをする王
1944年(1954年鑄造)
ブロンズ
96.0×82.5×53.5

8
堀内 正和
D氏の骨ぬきサイコロ
1964年
ブロンズ
53.5×18.0×18.0

9

マリノ・マリーニ
若い女
1938年(1985年鑄造)
ブロンズ
154.5×44.5×34.0

10
アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの胸像
1954年
ブロンズ
39.5×33.0×19.0

11
柳原 義達
坐る
1960年(1993年鑄造)
ブロンズ
129.5×44.0×75.0

12
コンスタンティン・ブランクーシ
雄鶏
1924年(1972年鑄造)
ブロンズ
92.4×10.5×45.0

13
コンスタンティン・ブランクーシ
若い男のトルソII
1924年(1973年鑄造)
ブロンズ
41.7×27.6×13.9

展示室4

14
前田 寛治
I子像
1928年
油彩、カンヴァス
90.6×72.8

15
国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩、カンヴァス
66.0×81.3

16
オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0

17
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージュの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0

18

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2

19
ピエロ・マンゾーニ
無色
1960年
カオリン、装のあるカンヴァス
80.0×60.0

20
熊谷 守一
高原の秋
1935年頃
油彩、板
37.9×45.5

21
堂本 高郎
連続の溶解 1963-60
1963年
金箔、油彩、カンヴァス
130.0×91.0

22
熊谷 守一
シヂミ蝶
1958年
油彩、板
23.6×32.8

23
フランシス・ベーコン
スフィンクス
1954年
油彩、カンヴァス
151.0×116.0

24
藤田 嗣治
自画像
1943年
油彩、カンヴァス
23.0×15.0

25
熊谷 守一
裸婦
1961年
油彩、カンヴァス
40.2×52.2

26
岸田 劉生
自画像
1913年
油彩、カンヴァス
45.6×38.0

出品作品

1
川俣正
ワーク・イン・プログレス：プロジェクト・イン・トヨタ・シティ
1999年
ベニヤ板、木材、アクリル他
模型4台、レリーフ4点、パネルプラン10枚

2
川俣正
コンストラクション・サイト：スプイ・プロジェクト
デン・ハーグ 1986
1986年
模型、写真パネル、ドキュメントパネル9枚

27
斎藤 義重
作品
1959年
油彩、板
150.0×120.7

28
吉原 治良
無題
1961年
油彩、カンヴァス
162.0×131.0

29
白髪 一雄
無題
1957年
油彩、紙
182.0×242.0

30
アルベルト・ブッリ
赤 プラスチック
1964年
燃焼、プラスチック、カンヴァス
60.0×50.0

31
アルマン
カシヤノジャ、シッパイ
1962年
カメラ、木箱
60.0×100.0×22.0

32
クリスト
梱包
1961年
南京袋、ロープ、ボード
75.0×60.0×20.0

33
岸田 劉生
横臥裸婦
1913年
油彩、カンヴァス
45.5×53.0

34
ルーチョ・フォンターナ
空間概念
1962年
油彩、カンヴァス
100.0×81.3
寄託作品

展示室5

35
宮脇 晴
少女立像
1932年
油彩、カンヴァス
92.0×65.0

14

36
宮脇 晴
戯れる
1954年
油彩、カンヴァス
100.0×80.3

37
小堀 四郎
イタリヤの少年
1929年
油彩、カンヴァス
117.0×64.5

38
小堀 四郎
ブルターニュの男
1930年
油彩、カンヴァス
162.0×96.5

39
小堀 四郎
待漁
1934年
油彩、カンヴァス
200.0×402.0

40
小堀 四郎
中勘助像
1939年
油彩、カンヴァス
65.2×53.4

41
小堀 四郎
老人像
1939年
油彩、カンヴァス
61.8×51.1

42
小堀 四郎
桃子像
1958年
油彩、カンヴァス
65.5×53.4

43
小堀 四郎
十三湖の月
1978年
油彩、カンヴァス
112.4×162.0

44
小堀 四郎
人生とは
1982年
油彩、カンヴァス
162.5×130.5

45
小堀 四郎
二人で歩いた寂しい道
1987年
油彩、カンヴァス
161.8×149.0

46
小堀 四郎
影
1927年
油彩、カンヴァス
130.5×89.8
寄託作品

47
宮脇 綾子
掘りたての馬鈴薯
1980年
アブリケ
36.5×30.5

48
宮脇 綾子
たち魚とやがら
1961年
アブリケ
24.6×96.3

49
宮脇 綾子
一卵性玉ねぎ
1985年
アブリケ
84.0×33.0

50
宮脇 綾子
いい形いい布
1986年
アブリケ
90.5×157.2

51
宮脇 綾子
下仁田ねぎ
1986年
アブリケ
49.2×30.2

52
宮脇 綾子
芽の伸びたこんにやく芋
1985年
アブリケ
94.0×34.0

53
宮脇 綾子
干柿のれん
1973年
アブリケ
94.0×62.0

54
宮脇 綾子
根曲り
1964年
アブリケ
90.0×59.0

55
宮脇 綾子
れんこん
1978年
アブリケ
114.8×66.5

56
宮脇 綾子
はりえ日記
1972-90年
水彩、アブリケ
30.2×21.0

生誕百年 黒田辰秋一開いて観察

平成16年9月14日(火)ー12月26日(日) 《92日間》 展示室1

黒田辰秋は、木、漆、貝などの素材の美しさを生かし、独自の造形世界を展開した木漆工芸家である。本展は、この秋に生誕百年を迎えたことを記念して開催した。

コレクションを中心とした今回の展示は、飾棚の扉を開き、箱物や蓋物の蓋を開け、黒田作品の内部構造を観察することによって、前回の「黒田辰秋一坐って体験」と同様、作品をより身近に感じてもらうことを目的とした。

[主催] 豊田市美術館

[出品作品] 30点

[関連事業]

講演会 テーマ：黒田辰秋の棚

講師：早川謙之輔

日時：平成16年10月24日(日) 午後2時ー3時30分

会場：豊田市美術館 講堂

[印刷物] 案内はがき：10.7×15.4cm

[担当学芸員] 青木正弘



案内はがき



展示風景

出品作品

- | | | |
|---|---|--|
| 1
黒田 辰秋
拭漆櫛八角重菓子器
1936年
H25.4、φ 28.5 | 9
黒田 辰秋
拭漆櫛家具セット
1964年
食堂椅子：各81.5×56.3×64.5(8脚)、
円テーブル：H68.0、φ 194.0
寄託作品 | 17
黒田 辰秋
耀貝螺鈿茶器
1960年頃
H7.4、φ 7.4
寄託作品 |
| 2
黒田 辰秋
赤漆彫華紋飾手篋
1941年
18.8×34.2×24.9 | 10
黒田 辰秋
乾漆耀貝螺鈿捻十稜水指
1965年
H18.0、φ 22.4 | 18
黒田 辰秋
拭漆櫛葡萄全飾篋
1967年頃
17.8×27.6×12.0 |
| 3
黒田 辰秋
彩漆群蝶図手篋
1948年
19.8×34.2×20.8
寄託作品 | 11
黒田 辰秋
葛金輪寺茶器
1965-74年
H8.4、φ 7.8 | 19
黒田 辰秋
耀貝螺鈿總張飾手篋
1974年頃
18.4×30.5×15.5 |
| 4
黒田 辰秋
赤漆捻紋蓋物
1949年
19.6×23.2×20.8
寄託作品 | 12
黒田 辰秋
乾漆梅花盆
1965-74年
H3.1、φ 26.6
寄託作品 | 20
黒田 辰秋
拭漆櫛彫花文椅子見取図・平面図
1963-64年
35.8×49.6 |
| 5
黒田 辰秋
拭漆文櫛木飾棚
1960年
102.0×176.8×45.3 | 13
黒田 辰秋
黒柿紙刀
1965-74年
36.5×3.5×2.8 | 21
黒田 辰秋
拭漆櫛彫花文椅子側面図
1963-64年
49.8×37.8 |
| 6
黒田 辰秋
竹張小棚
1962年
47.0×60.0×33.7 | 14
黒田 辰秋
櫻拭漆飾棚
1970年
98.1×182.0×44.8 | 22
黒田 辰秋
拭漆櫛家紋長椅子側面・正面部分原寸図
1963-64年
120.2×109.6 |
| 7
黒田 辰秋
朱漆振紐文火鉢
1962年頃
H30.0、φ 68.0 | 15
黒田 辰秋
螺鈿大名繪茶器
1970年
H7.3、φ 6.1
寄託作品 | 23
黒田 辰秋
拭漆櫛食堂椅子側正面原寸図
1963-64年
109.5×79.4 |
| 8
黒田 辰秋
拭漆櫛家具セット
1964年
彫花文椅子：各128.5×85.0×80.5(3脚)、
テーブル：37.0×181.3×79.0、
長椅子：111.0×188.0×79.0 | 16
黒田 辰秋
楠全拭漆器局
1970年頃
50.8×48.8×37.2 | 24
黒田 辰秋
拭漆櫛食堂椅子側面原寸図
1963-64年
109.5×79.6 |
| | | 25
黒田 辰秋
拭漆櫛食堂椅子平面原寸図
1963-64年
79.2×79.2 |

平成16年度第4期常設展示

平成17年1月8日(土)～2月27日(日) 《45日間》

出品作品

展示室5

- 1
国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩、カンヴァス
66.0×81.3
- 2
ルネ・マグリット
無謀な企て
1928年
油彩、カンヴァス
116.0×81.1
- 3
オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0
- 4
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージュの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0
- 5
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2
- 6
エドヴァルト・ムンク
接吻
1895年
エッチング、ドライポイント、紙
32.8×26.3
- 7
エドヴァルト・ムンク
魅惑
1896年
リトグラフ、紙
47.2×35.8
- 8
藤田 嗣治
美しいスペイン女
1949年
油彩、カンヴァス
76.0×63.5
- 9
グスタフ・クリムト
眠る裸婦
1915年頃
鉛筆、紙
35.8×56.0

- 10
エゴン・シーレ
しゃがむ女
1914年(1922年刷)
ドライポイント、紙
48.3×32.2
- 11
エゴン・シーレ
悲しみ
1914年(1922年刷)
ドライポイント、紙
48.2×32.0
- 12
熊谷 守一
裸婦
1961年
油彩、カンヴァス
40.2×52.2
- 13
岸田 劉生
自画像
1913年
油彩、カンヴァス
45.6×38.0
- 14
オスカー・ココシュカ
夢見る少年たち
1908年(1917年、クルト・ヴォルフ版)
8枚組
- 15
岸田 劉生
横臥裸婦
1913年
油彩、カンヴァス
45.5×53.0
- 16
アントン・ジョセフ・トリチカ
女性の横顔
1925年頃(2002年プリント)
ブラチナパラディウムプリント
17.4×12.5
- 17
アントン・ジョセフ・トリチカ
エゴン・シーレ
1914年(2002年プリント)
ブラチナパラディウムプリント
22.5×16.1
- 18
アントン・ジョセフ・トリチカ
グスタフ・クリムト
1914年(2002年プリント)
ブラチナパラディウムプリント
17.4×23.2

- 19
アントン・ジョセフ・トリチカ
ポーズを取るエレノア
1926年(2002年プリント)
ブラチナパラディウムプリント
17.0×11.1
- 20
アントン・ジョセフ・トリチカ
エゴン・シーレ
1914年(2002年プリント)
ブラチナパラディウムプリント
21.8×17.0
- 21
アントン・ジョセフ・トリチカ
マスクを持つヒルデ
1925年(2002年プリント)
ブラチナパラディウムプリント
26.4×12.7
- 22
アントン・ジョセフ・トリチカ
エゴン・シーレ
1914年(2002年プリント)
ブラチナパラディウムプリント
20.4×15.6
- 23
アントン・ジョセフ・トリチカ
マリアに扮したエレノア
1926年(2002年プリント)
ブラチナパラディウムプリント
17.4×11.7
- 展示室6
- 24
小堀 四郎
高原の星夜
1961年
油彩、カンヴァス
91.2×117.4
- 25
小堀 四郎
恐山の巫女
1967年
油彩、カンヴァス
60.3×75.8
- 26
小堀 四郎
御陣乗太鼓
1972年
油彩、カンヴァス
114.3×146.5
- 27
小堀 四郎
十三湖の月
1978年
油彩、カンヴァス
112.4×162.0

- 26
黒田 辰秋
轆轤挽き指示図
制作年不詳
37.7×53.8
- 27
黒田 辰秋
飾棚板取図
制作年不詳
39.0×48.6
- 28
黒田 辰秋
飾棚扉構造図
制作年不詳
27.2×35.0
- 29
黒田 辰秋
飾棚金具図
制作年不詳
25.0×36.0
- 30
富岡 鉄斎
更覺良工心獨苦
1886年
16.3×23.3

- 28
小堀 四郎
二人で歩いた厳しい道
1987年
油彩、カンヴァス
161.8×149.0
- 29
小堀 四郎
夕陽
1983年
パステル、紙
24.8×36.0
- 30
小堀 四郎
雑木林
1983年
水彩、紙
36.1×24.9
- 31
小堀 四郎
雪の花
1983年
水彩、紙
27.0×39.0
- 32
小堀 四郎
河畔
1983年頃
墨、水彩、紙
36.0×24.8
- 33
小堀 四郎
暮色
1990年
パステル、紙
33.1×42.4
- 34
小堀 四郎
佐渡の百萬遍
1967年
油彩、カンヴァス
65.2×91.5
- 35
小堀 四郎
御陣乗太鼓
1972年頃
水彩、鉛筆、色鉛筆、墨、紙
15.2×21.9
- 36
小堀 四郎
能登の海
1972年頃
色鉛筆、インク、紙
14.8×20.7

展示室7

- 37
宮脇 晴
菘の道
1921年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9
- 38
宮脇 晴
えりまきの少女
1920年
油彩、カンヴァス
45.6×33.2
- 39
宮脇 晴
自画像(17才)
1919年
油彩、カンヴァス
45.5×33.3
- 40
宮脇 晴
仲田風景
1922年
油彩、カンヴァス
68.3×60.7
- 41
宮脇 綾子
鴨(背)
1953年
アプリケ
50.2×38.7
- 42
宮脇 綾子
鴨(腹)
1953年
アプリケ
51.6×39.5
- 43
宮脇 綾子
れんこん
1982年
アプリケ
100.2×43.2
- 44
宮脇 綾子
あんこう
1975年
アプリケ
44.6×29.8
- 45
宮脇 綾子
ふぐ
1986年
アプリケ
40.0×55.5

46

- 宮脇 綾子
思い出の布(屏風)
1953年
アプリケ
75.8×177.0
寄託作品
- 47
宮脇 綾子
思い出の布(ちりめん百柿文様衝立)
1969年
アプリケ、布
90.3×83.3
寄託作品
- 48
宮脇 綾子
柿
制作年不詳
アプリケ、布
21.2×27.3
寄託作品
- 49
宮脇 綾子
花
制作年不詳
アプリケ、布
31.5×44.2
寄託作品

展示室8

- 50
野村 仁
天路1910年：ハレー彗星の回帰
1986-89年
写真
83.0×170.0
- 51
野村 仁
天路1986年：ハレー彗星の回帰
1986-87年
写真
70.0×170.0
- 52
野村 仁
天路2062年：ハレー彗星の回帰
1986-89年
写真
83.0×170.0
- 53
李 禹煥
風と共に
1991年
油彩、岩絵具、カンヴァス
260.0×780.0

54

- 李 禹煥
風と共に
1987年
油彩、岩絵具、カンヴァス
227.0×182.0

55

- 若林 奮
胡桃の葉
1994-96年
胡桃の葉、銅、インク、紙、木、鉄、アルミニウム
サイズ可変

56

- 若林 奮
大風景(4th Stage)
1964, 91年
アルミニウム、鉄、木
54.0×134.5×55.0

57

- 関根 伸夫
空相布と石
1973年
布、石、ロープ
90.6×100.0、ロープ：188.0

58

- 菅 木志雄
ふたつの周囲
1987年
木、鉄
163.0×32.0×85.0

59

- 堀 浩哉
池へー81.4
1981年
アクリル、カンヴァス
227.0×182.0

60

- 日高 理恵子
樹を見上げて I
1989年
岩絵具、紙
220.0×360.0

61

- 日高 理恵子
樹を見上げて II
1989年
岩絵具、紙
220.0×360.0

62

- 中西 夏之
arc·ellipse II
1980年
油彩、竹弓、カンヴァス
194.0×130.5

63

- 中西 夏之
arc·green-O
1980年
油彩、竹弓、カンヴァス
194.0×112.5

64

- 中西 夏之
弓形が触れてのためのプラン
1980年頃
木、鏡
24.0×33.8×8.3

65

- 中西 夏之
Untitled
1981年
油彩、木炭、カンヴァス
109.0×78.0

66

- 中西 夏之
弓形のための習作
1980年
油彩、カンヴァス
45.5×38.0

エントランス

67

- イチハラヒロコ
イチハラヒロコ恋みくじ
1999年
木、紙
みくじ箋整理箱：60.0×50.0×16.0、
みくじ箋：10.0×14.6(36種)、
みくじ筒：27.0×12.0

2005年愛知万博記念特別展 古代のまなざし：ローマ肖像彫刻の魅力

平成17年1月8日(土)ー2月27日(日)、3月19日(土)ー3月31日(木) 〈57日間〉 展示室9

地中海の中心、ちょうどアフリカとヨーロッパを結ぶ海域に浮かぶパンテッレリア島。今日ではリゾート地として、あるいはワインの産地として知られるこの島には、その地理上の重要性から古来多くの人々が往来し、いまなお島内各所にさまざまな古代遺跡が遺る。今回紹介した3点の彫刻は、2003年、サン・マルコのアクロポリスと呼ばれる神殿遺構から新たに発掘されたもので、ヨーロッパ以外では初の展示となった。神事に用いられたと思われる彫像はいずれもコンディション良好で、古代ローマの美・技術の精髓を、遺憾なく示すものであった。



展示風景

[主催] 豊田市美術館、2005年愛知万博イタリア館、シチリア州、伊日財団

[後援] イタリア大使館、イタリア文化会館、東京、名古屋日伊協会、中日新聞社、中部日本放送株式会社

[出品作品] 3点

[関連事業]

アンドレア・バッケッティ ピアノコンサート

日 時：平成17年1月8日(土) 午後3時ー4時

会 場：豊田市美術館 講堂

[印刷物] ポスター：B3判 チラシ：A4判

ギャラリーガイド：21×44.2cm(三つ折り)

[担当学芸員] 金井直 北谷正雄

出品作品

1
カエサルの肖像
紀元後1世紀
大理石
H42.0
協力：シチリア州文化・環境・教育局

2
ティトゥスの肖像
紀元後1世紀
大理石
H45.0
協力：シチリア州文化・環境・教育局

3
小アントニアの肖像
紀元後1世紀
大理石
H42.0
協力：シチリア州文化・環境・教育局

高橋節郎館 第2期常設展示

平成16年6月29日(火)ー平成16年11月28日(日) 《135日間》

出品作品

- | | | |
|--|---|---|
| 1
高橋 節郎
万化
1991年
鎗金
95.7×116.7 | 10
高橋 節郎
乾漆壺 3
1989年
乾漆
H59.4 | 19
高橋 節郎
乾漆壺 12
1989年
乾漆
H23.8 |
| 2
高橋 節郎
花天
1990年
蒔絵
90.7×116.6 | 11
高橋 節郎
乾漆壺 4
1989年
乾漆
H24.5 | 20
高橋 節郎
乾漆壺 13
1989年
乾漆
H46.7 |
| 3
高橋 節郎
樹下小憩
1980年
鎗金
120.0×87.3 | 12
高橋 節郎
乾漆壺 5
1989年
乾漆
H42.0 | 21
高橋 節郎
乾漆壺 14
1989年
乾漆
H51.7 |
| 4
高橋 節郎
星座創記
1975年
鎗金
175.9×173.0 | 13
高橋 節郎
乾漆壺 6
1981年
乾漆
H21.0 | 22
高橋 節郎
乾漆壺 15
1989年
乾漆
H101.5 φ 19.9 |
| 5
高橋 節郎
古墳月彩
1979年
鎗金
179.2×169.6 | 14
高橋 節郎
乾漆壺 7
1989年
乾漆
H42.2 | 23
高橋 節郎
乾漆壺 16
1989年
乾漆
93.5×20.0 |
| 6
高橋 節郎
星座回帰
1986年
鎗金
176.7×173.7 | 15
高橋 節郎
乾漆壺 8
1989年
乾漆
H42.5 | 24
高橋 節郎
乾漆壺 17
1989年
乾漆
H39.0 |
| 7
高橋 節郎
断層
1962年
漆絵
188.1×182.8 | 16
高橋 節郎
乾漆壺 9
1989年
乾漆
H20.6 | 25
高橋 節郎
乾漆壺 18
制作年不詳
乾漆
H46.5 φ 18.0 |
| 8
高橋 節郎
乾漆壺 1
1989年
乾漆
H91.7 φ 12.2 | 17
高橋 節郎
乾漆壺 10
制作年不詳
乾漆
H24.0 | 26
高橋 節郎
乾漆壺 19
1989年
乾漆
H91.5 φ 12.2 |
| 9
高橋 節郎
乾漆壺 2
1989年
乾漆
H59.4 | 18
高橋 節郎
乾漆壺 11
1989年
乾漆
H50.8 | 27
高橋 節郎
乾漆壺 20
1989年
乾漆
H40.6 |

- | | | |
|---|--|---|
| 28
高橋 節郎
遠い森の記憶
1974年
鎗金
115.1×90.8 | 37
高橋 節郎
昆蟲記 Ⅶ
1989年
染付、陶器
1.1×32.3×28.0 | 46
高橋 節郎
聖橋
1985年
墨彩、和紙
13.0×18.0 |
| 29
高橋 節郎
標
1977年
鎗金
121.3×85.0 | 38
高橋 節郎
昆蟲記 IX
1989年
染付、陶器
1.1×32.3×28.1 | 47
高橋 節郎
街角
1985年
墨彩、和紙
13.0×18.0 |
| 30
高橋 節郎
宙
1977年
鎗金
121.3×85.0 | 39
高橋 節郎
夢・太古の星座
1995年
鎗金、箔押
176.0×86.0 | 48
高橋 節郎
壇輪
1985年
墨彩、和紙
13.0×18.0 |
| 31
高橋 節郎
紋
1972年
鎗金
121.0×90.8 | 40
高橋 節郎
夢・縄文の星座
1996年
鎗金、箔押
176.0×86.0 | 49
高橋 節郎
信州山村
制作年不詳
墨彩、和紙
60.9×44.5 |
| 32
高橋 節郎
遠い記録
1979年
鎗金
120.9×98.0 | 41
高橋 節郎
旅の印象 館
制作年不詳
墨彩、和紙
45.8×28.0 | 50
高橋 節郎
白馬三山
制作年不詳
墨彩、和紙
57.5×94.3 |
| 33
高橋 節郎
昆蟲記 I
1989年
染付、陶器
1.5×27.0×34.8 | 42
高橋 節郎
旅の印象 マイン河畔
制作年不詳
墨彩、和紙
28.4×46.1 | 51
高橋 節郎
旅の印象
制作年不詳
墨彩、和紙
46.4×62.8 |
| 34
高橋 節郎
昆蟲記 Ⅵ
1989年
染付、陶器
1.5×35.0×27.1 | 43
高橋 節郎
旅の印象 シャモニー郊外
制作年不詳
墨彩、和紙
28.0×45.8 | 52
高橋 節郎
山陵
1989年
墨彩、和紙
61.3×93.6 |
| 35
高橋 節郎
昆蟲記 V
1989年
染付、陶器
1.5×27.1×35.0 | 44
高橋 節郎
神戸
1982年
墨彩、和紙
45.3×59.9 | 53
高橋 節郎
アルプスの見える街
1984年
墨彩、和紙
95.2×63.8 |
| 36
高橋 節郎
昆蟲記 Ⅳ
1989年
染付、陶器
1.4×25.7×32.8 | 45
高橋 節郎
長崎の丘
制作年不詳
墨彩、和紙
33.2×41.1 | 54
高橋 節郎
北信濃山村暮色
1989年
墨彩、和紙
56.8×42.8 |

55
高橋 節郎
円の中のさくらんぼ(薫風)
1987年
鍍金
H1.3 φ 41.3

56
高橋 節郎
円の中の山(月彩)
1987年
蒔絵
H1.3 φ 41.2

57
高橋 節郎
鍍金線紋四方盆 琴弦 1
1994年
鍍金
3.0×23.1×23.0

58
高橋 節郎
蒔絵棗 新月
1982年
蒔絵
H6.7 φ 6.0

59
高橋 節郎
春(色紙)
1996年
墨彩、紙
27.5×24.5

60
高橋 節郎
夏(色紙)
1996年
墨彩、紙
27.5×24.5

61
高橋 節郎
秋(色紙)
1996年
墨彩、紙
27.5×24.5

62
高橋 節郎
冬(色紙)
1996年
墨彩、和紙
27.5×24.5

63
高橋 節郎
花(色紙)
1996年
書、紙
27.5×24.5

64
高橋 節郎
岳(色紙)
1996年
書、紙
27.5×24.5

65
高橋 節郎
風(色紙)
1996年
書、紙
27.5×24.5

66
高橋 節郎
雲(色紙)
1996年
書、紙
27.5×24.5

67
高橋 節郎
むさしの記より
制作年不詳
墨彩、和紙
17.2×84.8

68
高橋 節郎
武蔵野
1982年以前
墨彩、和紙
17.0×88.0

69
高橋 節郎
武蔵野の富士
制作年不詳
墨彩、和紙
17.8×91.2

70
高橋 節郎
雨上がる
制作年不詳
墨彩、和紙
52.7×94.0

71
高橋 節郎
山彩
1990年
墨彩、和紙
27.5×24.5

72
高橋 節郎
木崎湖
1984年
墨彩、和紙
47.0×62.0

73
高橋 節郎
明けゆく山湖
制作年不詳
墨彩、和紙
45.4×46.2

74
高橋 節郎
北信濃 雲流れる
制作年不詳
墨彩、和紙
42.6×56.6

75
高橋 節郎
雲は流れる
制作年不詳
墨彩、和紙
43.0×56.7

76
高橋 節郎
朝霧
1986年
墨彩、和紙
44.3×93.4

77
高橋 節郎
嵐の前
1984年
墨彩、和紙
61.2×93.0

78
高橋 節郎
円の中の松(寿松)
1987年
蒔絵
H1.4 φ 41.2

79
高橋 節郎
円の中の杉(杉風)
1987年
鍍金
H1.4 φ 41.2

80
高橋 節郎
鍍金線紋四方盆 琴弦 2
1994年
鍍金
3.0×23.0×23.0

81
高橋 節郎
鍍金線紋棗 琴弦
1982年
鍍金
H6.4 φ 6.7

82
高橋 節郎
蒔絵香合 霊山
1982年
蒔絵
H2.0 φ 7.2

83
高橋 節郎
鍍金四方盆 花
1994年
蒔絵
3.0×23.0×23.0

84
高橋 節郎
日月の小宮 月
制作年不詳
金地
4.7×6.1×12.3

85
高橋 節郎
日月の小宮 日
制作年不詳
金地
4.8×7.0×10.9

86
高橋 節郎
花のセレナード
制作年不詳
鍍金
27.5×22.3

高橋節郎館 第3期常設展示

平成16年11月30日(火)ー平成17年2月27日(日) 《69日間》

出品作品

- | | | |
|---|--|--|
| 1
高橋 節郎
万化
1991年
鎗金
95.7×116.7 | 10
高橋 節郎
《蜃気楼「空中都市」》下絵
1961年
鉛筆、紙
187.8×181.6 | 19
高橋 節郎
夢・太古の星座
1995年
鎗金、箔押
176.0×86.0 |
| 2
高橋 節郎
花天
1990年
蒔絵
90.7×116.6 | 11
高橋 節郎
《古墳借景》下絵
1978年
鉛筆、紙
176.0×170.0 | 20
高橋 節郎
夢・縄文の星座
1996年
鎗金、箔押
176.0×86.0 |
| 3
高橋 節郎
蜃気楼「空中都市」
1961年
鎗金、朱印き塗
187.8×181.6 | 12
高橋 節郎
《天宙の記》下絵
1972年
鉛筆、紙
182.0×182.8 | 21
高橋 節郎
洞1
1963年
漆版画、和紙
82.6×55.8 |
| 4
高橋 節郎
天宙の記
1972年
鎗金
182.0×182.8 | 13
高橋 節郎
昆蟲記 I
1989年
染付、陶器
1.5×27.0×34.8 | 22
高橋 節郎
觸
1975年
漆版画、和紙
55.8×82.6 |
| 5
高橋 節郎
花の星座
1949年
彩研出蒔絵、アルミニウム合金
42.0×110.0 | 14
高橋 節郎
昆蟲記 IV
1989年
染付、陶器
1.4×25.7×32.8 | 23
高橋 節郎
型
1966年
漆版画、和紙
82.7×55.7 |
| 6
高橋 節郎
古墳借景
1978年
鎗金
176.0×170.0 | 15
高橋 節郎
昆蟲記 V
1989年
染付、陶器
1.5×27.1×35.0 | 24
高橋 節郎
態
制作年不詳
漆版画、和紙
82.8×55.5 |
| 7
高橋 節郎
古墳松韻
1982年
鎗金
176.3×171.0 | 16
高橋 節郎
昆蟲記 VI
1989年
染付、陶器
1.5×35.0×27.1 | 25
高橋 節郎
踊(タンゴ)
1966年
漆版画、和紙
56.1×82.6 |
| 8
高橋 節郎
古墳映像
1976年
鎗金
175.5×173.2 | 17
高橋 節郎
昆蟲記 VII
1989年
染付、陶器
1.1×32.3×28.0 | 26
高橋 節郎
生
制作年不詳
漆版画、和紙
62.6×55.9 |
| 9
高橋 節郎
星座物語
1994年
鎗金
176.0×173.0 | 18
高橋 節郎
昆蟲記 IX
1989年
染付、陶器
1.1×32.3×28.1 | 27
高橋 節郎
洞2
1963年
漆版画、和紙
55.7×62.6 |

- | | | |
|--|--|--|
| 28
高橋 節郎
体
1966年
漆版画、和紙
62.3×56.7 | 37
高橋 節郎
婦人像(A)
1955-64年
漆絵
φ 27.3 | 46
高橋 節郎
森の小径
1964年
エッチング、和紙
20.5×13.5 |
| 29
高橋 節郎
流
制作年不詳
漆版画、和紙
106.1×81.3 | 38
高橋 節郎
街角
1955-64年
漆絵
φ 27.2 | 47
高橋 節郎
婦人像
制作年不詳
エッチング、和紙
15.0×13.0 |
| 30
高橋 節郎
鏡A
制作年不詳
漆版画、紙
81.0×54.0 | 39
高橋 節郎
鏡(B)
1955-64年
漆絵
φ 27.1 | 48
高橋 節郎
風船
制作年不詳
エッチング、和紙
18.0×12.0 |
| 31
高橋 節郎
暢
制作年不詳
漆版画、和紙
81.0×54.0 | 40
高橋 節郎
刻
制作年不詳
漆版画、和紙
55.9×68.5 | 49
高橋 節郎
夜の猫
1963年
エッチング、和紙
14.5×14.5 |
| 32
高橋 節郎
振振
制作年不詳
漆版画、紙
62.5×96.2 | 41
高橋 節郎
角力
制作年不詳
漆版画、和紙
30.0×25.5 | 50
高橋 節郎
崖(B)
制作年不詳
漆版画、和紙
82.6×55.8 |
| 33
高橋 節郎
祀
制作年不詳
漆版画、和紙
96.5×61.3 | 42
高橋 節郎
千手観音
制作年不詳
漆版画、和紙
28.0×19.5 | 51
高橋 節郎
武者(A)
制作年不詳
漆版画、和紙
44.8×68.4 |
| 34
高橋 節郎
日日草紋衣裳箱
1938年
彩研出蒔絵
45.5×69.5×14.5
寄託作品 | 43
高橋 節郎
都会の朝
制作年不詳
漆版画、和紙
41.0×33.0 | 52
高橋 節郎
層煙
1962年
漆版画、和紙
119.4×94.7 |
| 35
高橋 節郎
鏡(A)
1955-64年
漆絵
φ 27.3 | 44
高橋 節郎
サーカスの女
1963年
エッチング、和紙
18.0×14.0 | 53
高橋 節郎
流雲
1962年
漆版画、和紙
119.3×95.0 |
| 36
高橋 節郎
酒場
1955-64年
漆絵
φ 27.2 | 45
高橋 節郎
円の中の杉(杉風)
制作年不詳
エッチング、和紙
24.5×13.5 | 54
高橋 節郎
円の中の杉(杉風)
1987年
鎗金
H1.4 φ 41.2 |

55
高橋 節郎
円の中の松(寿松)
1987年
蒔絵
H1.4 φ 41.2

56
高橋 節郎
鎔金線紋四方盆 琴弦 2
1994年
鎔金
3.0×23.0×23.0

57
高橋 節郎
日月の小管 日
制作年不詳
金地
4.8×7.0×10.9

58
高橋 節郎
日月の小管 月
制作年不詳
金地
4.7×6.1×12.3

59
高橋 節郎
蒔絵裏 新月
1982年
蒔絵
H6.7 φ 6.0

60
高橋 節郎
鎔金線紋裏 琴弦
1982年
鎔金
H6.4 φ 6.7

61
高橋 節郎
蒔絵香合 霊山
1982年
蒔絵
H2.0 φ 7.2

高橋節郎館 第4期常設展示

平成17年3月19日(土)ー平成17年6月12日(日) 〈75日間〉

出品作品

1
高橋 節郎
標
1977年
鎔金
121.3×85.0

2
高橋 節郎
遠い森の記憶
1974年
鎔金
115.1×90.8

3
高橋 節郎
紋
1972年
鎔金
121.0×90.8

4
高橋 節郎
遠森の記
1974年
鎔金
175.8×163.4

5
高橋 節郎
蜃気楼「空中都市」
1961年
鎔金、朱印き塗
187.8×181.6

6
高橋 節郎
古墳借景
1978年
鎔金
176.0×170.0

7
高橋 節郎
星座創記
1975年
鎔金
175.9×173.0

8
高橋 節郎
古墳悠悠
1985年
鎔金
176.3×173.0

9
高橋 節郎
古墳月彩
1979年
鎔金
179.2×169.6

10
高橋 節郎
天宙の記
1972年
鎔金
182.0×182.8

11
高橋 節郎
霧晴れる
1984年
墨彩、和紙
93.5×182.5

12
高橋 節郎
龍雲
制作年不詳
墨彩、和紙
93.2×184.0

13
高橋 節郎
峻岳
1989年
墨彩、和紙
94.0×181.4

14
高橋 節郎
昆虫記 I
1989年
染付、陶器
1.5×27.0×34.8

15
高橋 節郎
昆虫記 IV
1989年
染付、陶器
1.4×25.7×32.8

16
高橋 節郎
昆虫記 V
1989年
染付、陶器
1.5×27.1×35.0

17
高橋 節郎
昆虫記 VI
1989年
染付、陶器
1.5×35.0×27.1

18
高橋 節郎
昆虫記 VII
1989年
染付、陶器
1.1×32.3×28.0

19
高橋 節郎
昆虫記 IX
1989年
染付、陶器
1.1×32.3×28.1

20
高橋 節郎
夢・太古の星座
1995年
鎔金、箔押
176.0×86.0

21
高橋 節郎
夢・縄文の星座
1996年
鎔金、箔押
176.0×86.0

22
高橋 節郎
花の星座
1949年
彩研出蒔絵、アルミニウム合金
42.0×110.0

23
高橋 節郎
街と花火
1952年
蒔絵、螺鈿、アルミニウム合金
77.3×98.8

24
高橋 節郎
遥かなる郷愁
1956年
鎔金
157.5×109.0

25
高橋 節郎
万化
1991年
鎔金
95.7×116.7

26
高橋 節郎
踊り(A)
1954年
鎔金
19.0×19.0

27
高橋 節郎
踊り(B)
1954年
鎔金
19.0×19.0

28
高橋 節郎
《踊り》下図 B
制作年不詳
鉛筆、紙
27.5×21.0

29
高橋 節郎
《踊り》下図 A
1954年
鉛筆、紙
27.4×21.2

30
高橋 節郎
踊り
1954年
鎗金、アルミニウム合金
112.3×84.6

31
高橋 節郎
日日草紋衣裳箱
1938年
彩研出蒔絵
45.5×69.5×14.5
寄託作品

32
高橋 節郎
海(春)
1993年
鎗金
H3.0 φ 41.5

33
高橋 節郎
海(夏)
1993年
鎗金
H3.0 φ 41.5

34
高橋 節郎
赤い化石
制作年不詳
木芯乾漆
51.0×24.5×15.3

35
高橋 節郎
森魂
制作年不詳
木芯乾漆
37.0×97.0×20.0

36
高橋 節郎
化石の森
1997年
木芯乾漆
47.0×18.0×60.0

37
高橋 節郎
化石の山
1997年
木芯乾漆
74.0×17.0×30.0

38
高橋 節郎
街角
1985年
墨彩、和紙
13.0×18.0

39
高橋 節郎
壇輪
1985年
墨彩、和紙
13.0×18.0

40
高橋 節郎
聖橋
1985年
墨彩、和紙
13.0×18.0

41
高橋 節郎
木崎湖
1984年
墨彩、和紙
47.0×62.0

42
高橋 節郎
山寺
1986年
墨彩、和紙
93.8×63.1

43
高橋 節郎
明けゆく山湖
制作年不詳
墨彩、和紙
45.4×46.2

44
高橋 節郎
邑里
制作年不詳
墨彩、和紙
61.6×92.9

45
高橋 節郎
朝霧
1986年
墨彩、和紙
44.3×93.4

46
高橋 節郎
山彩
1990年
墨彩、和紙
27.5×24.5

47
高橋 節郎
雨上がる
制作年不詳
墨彩、和紙
52.7×94.0

48
高橋 節郎
飛鳥風景
1982年以前
墨彩、和紙
28.5×44.0

49
高橋 節郎
北信濃山村暮色
1989年
墨彩、和紙
56.8×42.8

50
高橋 節郎
当麻寺
1982年以前
墨彩、和紙
44.0×28.5

51
高橋 節郎
古都の民家
1982年以前
墨彩、和紙
44.0×28.5

52
高橋 節郎
大和路
1982年以前
墨彩、和紙
28.5×44.0

53
高橋 節郎
古都所見 秋篠寺
1982年以前
墨彩、和紙
45.6×29.8

54
高橋 節郎
円の中の松(寿松)
1987年
蒔絵
H1.4 φ 41.2

55
高橋 節郎
鎗金線紋棗 琴弦
1982年
鎗金
H6.4 φ 6.7

56
高橋 節郎
蒔絵香合 霊山
1982年
蒔絵
H2.0 φ 7.2

57
高橋 節郎
円の中の杉(杉風)
1987年
鎗金
H1.4 φ 41.2

58
高橋 節郎
鎗金線紋四方盆 琴弦 2
1994年
鎗金
3.0×23.0×23.0

59
高橋 節郎
日月の小宮 日
制作年不詳
金地
4.8×7.0×10.9

60
高橋 節郎
日月の小宮 月
制作年不詳
金地
4.7×6.1×12.3

61
高橋 節郎
鎗金四方盆 花
1994年
蒔絵
3.0×23.0×23.0

62
高橋 節郎
花のセレナード
制作年不詳
鎗金
27.5×22.3

生誕100周年記念 アプリケ作家 宮脇綾子の世界

平成16年4月27日(火)ー6月20日(日) 《49日間》 展示室8

宮脇綾子の心温まる芸術世界は、終生良き妻、賢き母として、慎ましくも心豊かな生涯をおくった女性にして初めて成し得たものであった。

多難な青春時代を過ごした宮脇綾子は、昭和2年(1927年)、22歳のときに生涯の伴侶となる画家宮脇晴と結ばれた。そして戦後の厳しい生活環境の中で懸命に家庭を護りながら、40歳にして古い布切れによる美しいアプリケ作品を創りだした。それは、布切れのもつイメージが主婦ならではの感覚で野菜や魚、草花などに結び付けられ、美的な造形性と心温まる詩情を兼ね備えた、まったく新しい芸術世界であった。

本展覧会は、宮脇綾子の生誕100周年を記念して開催したもので、初公開作品を含めた初期から晩年に至る代表作品と、本人の人格が偲ばれる「はりえ日記」などにより、宮脇綾子の全貌に迫った。

【観覧料】 一般600円<400円> 高校・大学生400円<300円>

中学生以下無料 < >内は前売券、及び20名以上の団体料金

【主催】 豊田市美術館、NHK中部ブレンズ

【後援】 NHK名古屋放送局

【出品点数】 129点

【入場者数】 12,882人

【関連事業】

学芸員によるギャラリー・クルーズ

日 時：平成16年5月6日(木)、20日(木)、6月3日(木)、17日(木)

午後3時ー4時

会 場：豊田市美術館 展示室8

【印刷物】 ポスター：B2判

チラシ：A4判

ギャラリーガイド：A3判(三つ折り)

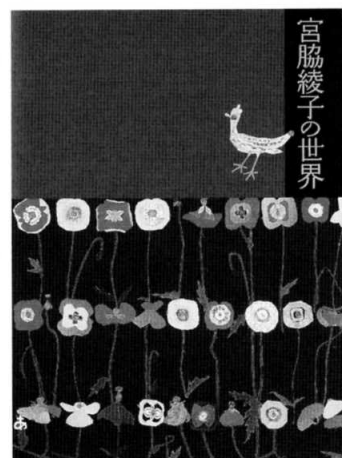
【作品輸送・展示】 株式会社マルイ美術

【会場設営】 株式会社カトウスタチオ

【担当学芸員】 北谷正雄 田境志保



ポスター



カタログ



展示風景

出品作品

- | | | |
|--|---|--|
| 1
宮脇綾子
椿
1945年
アプリケ
27.2×36.5
個人蔵 | 9
宮脇綾子
百日草
1953年
アプリケ
28.0×152.0
豊田市美術館 | 17
宮脇綾子
枯れた花
1955年
アプリケ
43.4×29.6
個人蔵 |
| 2
宮脇綾子
柿
1948年
アプリケ
24.2×29.2
豊田市美術館 | 10
宮脇綾子
思い出の布(屏風)
1953年
アプリケ
75.8×177.0
個人蔵 | 18
宮脇綾子
どくだみ
1956年
アプリケ
51.0×26.0
個人蔵 |
| 3
宮脇綾子
すずめ
1948年
アプリケ
55.0×13.5
豊田市美術館 | 11
宮脇綾子
栗
1953年
アプリケ
152.0×151.0
個人蔵 | 19
宮脇綾子
たこと並ぶ魚たち
1957年
アプリケ
37.7×51.2
豊田市美術館 |
| 4
宮脇綾子
すきやき
1948年頃
アプリケ
27.5×17.5
個人蔵 | 12
宮脇綾子
鴨(背)
1953年
アプリケ
50.2×38.7
豊田市美術館 | 20
宮脇綾子
干がれい
1957年
アプリケ
103.0×176.3
豊田市美術館 |
| 5
宮脇綾子
かぶ三つ
1949年
アプリケ
16.1×25.2
個人蔵 | 13
宮脇綾子
鴨(腹)
1953年
アプリケ
51.6×39.5
豊田市美術館 | 21
宮脇綾子
ぜんまい
1957年
アプリケ
102.8×126.8
豊田市美術館 |
| 6
宮脇綾子
ゆり
1949年
アプリケ
106.0×115.6
個人蔵 | 14
宮脇綾子
鳥
1953年
アプリケ
30.3×21.6
個人蔵 | 22
宮脇綾子
春
1957年
アプリケ
34×44
豊田市美術館 |
| 7
宮脇綾子
鷹
1950年
アプリケ
43.8×50.5
豊田市美術館 | 15
宮脇綾子
蕪
1954年
アプリケ
16.8×22.0
豊田市美術館 | 23
宮脇綾子
するめ
1958年
アプリケ
32.5×37.5
豊田市美術館 |
| 8
宮脇綾子
菜の花
1950年
アプリケ
22.5×28.3
豊田市美術館 | 16
宮脇綾子
干柿
1955年
アプリケ
59.3×89.5
豊田市美術館 | 24
宮脇綾子
さふらん模様屏風
1960年
はりえ、紙
133.0×156.0
名古屋市博物館 |

25
宮脇 綾子
しみ豆腐
1962年
はりえ、紙
106.0×81.6
個人蔵

26
宮脇 綾子
あやめ
1962年
アプリケ
39.2×99.5
豊田市美術館

27
宮脇 綾子
メキシコの鳥
1962年
アプリケ
75.0×112.0
豊田市美術館

28
宮脇 綾子
神戸の夜景
1962年
はりえ、紙
23.2×25.7
豊田市美術館

29
宮脇 綾子
吊った唐辛子
1963年
アプリケ
37.5×29.8
豊田市美術館

30
宮脇 綾子
足のとれた蟹
1963年
アプリケ
36.5×50.0
個人蔵

31
宮脇 綾子
めおと蟹
1963年
アプリケ
54.5×37.5
豊田市美術館

32
宮脇 綾子
つった唐辛子
1963年
アプリケ
38.0×28.0
個人蔵

33
宮脇 綾子
夏水仙
1964年
アプリケ
43.0×27.5
豊田市美術館

34
宮脇 綾子
ねこじゃらし
1964年
アプリケ
60.0×30.0
豊田市美術館

35
宮脇 綾子
長茄子
1964年
アプリケ
52.5×34.7
豊田市美術館

36
宮脇 綾子
たこ
1965年
アプリケ
55.5×30.5
豊田市美術館

37
宮脇 綾子
切った玉ねぎ
1965年
アプリケ
31.5×28.5
豊田市美術館

38
宮脇 綾子
どくだみ
1965年
アプリケ
38.5×29.2
豊田市美術館

39
宮脇 綾子
猫
1965年
アプリケ
102.0×89.0
豊田市美術館

40
宮脇 綾子
柿
1965年
アプリケ
91.0×28.2
個人蔵

41
宮脇 綾子
ガラス瓶の中の野菜
1965年
アプリケ
46.5×28.5
豊田市美術館

42
宮脇 綾子
ねぎ
1966年
アプリケ
66.5×32.0
個人蔵

43
宮脇 綾子
かたつむり
1967年
はりえ、紙
30.0×39.2
豊田市美術館

44
宮脇 綾子
表：小さな魚たち 裏：高枝切り
1968年
アプリケ
118.5×140.5
豊田市美術館

45
宮脇 綾子
ひなげし
1969年
アプリケ
71.9×90.0
豊田市美術館

46
宮脇 綾子
そまの道具
1969年
アプリケ
97.5×130.5
個人蔵

47
宮脇 綾子
思い出の布(ちりめん百柿文様衝立)
1969年
アプリケ、布
90.3×83.3
個人蔵

48
宮脇 綾子
アネモネ
1969年
アプリケ
28.5×40.5
豊田市美術館

49
宮脇 綾子
熱帯魚
1969年
アプリケ
30.5×60.3
豊田市美術館

50
宮脇 綾子
デンマークのしゃもじなど
1970年
アプリケ
55.0×67.0
個人蔵

51
宮脇 綾子
日野菜
1970年
アプリケ
32.5×19.5
豊田市美術館

52
宮脇 綾子
うど
1970年
アプリケ
89.0×60.0
豊田市美術館

53
宮脇 綾子
魚二匹
1970年
アプリケ
36.0×68.7
豊田市美術館

54
宮脇 綾子
さしみを取ったあとのかわい
1974年
制作年不詳
アプリケ
37.0×22.5
豊田市美術館

55
宮脇 綾子
縞木綿干柿団屏風
1971年
アプリケ
120.0×112.0
名古屋博物館

56
宮脇 綾子
紫花菜
1972年
アプリケ
113.0×187.0
豊田市美術館

57
宮脇 綾子
いちご
1972年
アプリケ
35.2×28.8
個人蔵

58
宮脇 綾子
皮のするめ
1972年
アプリケ
112.5×67.5
豊田市美術館

59
宮脇 綾子
冬瓜
1973年
アプリケ
30.2×23.3
個人蔵

60
宮脇 綾子
縞の魚百尾
1973年
アプリケ
85.0×197.0
豊田市美術館

61
宮脇 綾子
鮭(しゃけ)
1973年
アプリケ
95.6×32.7
豊田市美術館

62
宮脇 綾子
もようはた
1974年
アプリケ
33.6×31.5
豊田市美術館

63
宮脇 綾子
白菜
1975年
アプリケ
46.3×34.0
豊田市美術館

64
宮脇 綾子
夫婦冬瓜
1975年
アプリケ
33.5×65.4
豊田市美術館

65
宮脇 綾子
ほおずき
1975年
アプリケ
41.5×23.5
豊田市美術館

66
宮脇 綾子
権茸
1975年
アプリケ
91.7×32.4
豊田市美術館

67
宮脇 綾子
蓮根
1975年
アプリケ
67.3×14.0
個人蔵

68
宮脇 綾子
はちく
1975年
アプリケ
44.4×13.5
豊田市美術館

69
宮脇 綾子
てんすとおきえそ
1975年
アプリケ
33.8×37.0
個人蔵

70
宮脇 綾子
がらてや
1975年
アプリケ
22.0×14.7
豊田市美術館

71
宮脇 綾子
あんこう
1975年
アプリケ
44.6×29.8
豊田市美術館

72
宮脇 綾子
バイナッブル
1975年
アプリケ
42.8×33.0
個人蔵

73
宮脇 綾子
薬で包んで送ってきた山芋
1975年
アブリケ
25.8×60.5
個人蔵

74
宮脇 綾子
山うど
1975年
アブリケ
38.0×28.9
個人蔵

75
宮脇 綾子
富有柿
1976年
アブリケ
38.7×29.6
個人蔵

76
宮脇 綾子
ねぎ坊主
1976年
アブリケ
55.2×31.8
個人蔵

77
宮脇 綾子
かぶの花
1976年
アブリケ
108.3×57.2
豊田市美術館

78
宮脇 綾子
めざし
1975年
アブリケ
26.3×23.2
豊田市美術館

79
宮脇 綾子
筍
1977年
アブリケ
101.4×72.2
豊田市美術館

80
宮脇 綾子
えんどう
1977年
アブリケ
13.5×44.6
豊田市美術館

81
宮脇 綾子
むつごろう
1977年
アブリケ
16.7×41.0
豊田市美術館

82
宮脇 綾子
ひょうたん
1977年
アブリケ
43.0×34.0
個人蔵

83
宮脇 綾子
鱈の裏
1977年
アブリケ
47.5×34.5
豊田市美術館

84
宮脇 綾子
芽キャベツ
1977年
アブリケ
70.0×35.5
豊田市美術館

85
宮脇 綾子
ふうせんかずら
1977年
アブリケ
48.7×17.0
個人蔵

86
宮脇 綾子
バイナップル
1977年
アブリケ
48.0×36.3
個人蔵

87
宮脇 綾子
夏みかん
1978年
アブリケ
34.0×35.5
個人蔵

88
宮脇 綾子
みょうかの花
1978年
アブリケ
32.0×33.0
個人蔵

89
宮脇 綾子
筍
1978年
アブリケ
92.8×69.3
豊田市美術館

90
宮脇 綾子
小鯛の干もの
1978年
アブリケ
81.3×31.0
豊田市美術館

91
宮脇 綾子
ひょうたん
1978年
アブリケ
45.3×31.0
個人蔵

92
宮脇 綾子
ひの菜
1978年
アブリケ
40.7×43.8
豊田市美術館

93
宮脇 綾子
ねぎぼうず
1978年
アブリケ
32.7×56.0
個人蔵

94
宮脇 綾子
枯れた枝豆
1978年
アブリケ
46.5×34.0
豊田市美術館

95
宮脇 綾子
まんじゅしゃげ
1978年
アブリケ
44.7×29.6
豊田市美術館

96
宮脇 綾子
すいかの切り口
1978年
アブリケ
43.8×36.2
豊田市美術館

97
宮脇 綾子
しょうごいん大根
1979年
アブリケ
53.0×39.8
豊田市美術館

98
宮脇 綾子
枝のついた柿
1979年
アブリケ
36.0×59.5
豊田市美術館

99
宮脇 綾子
新ごぼう
1979年
アブリケ
49.0×34.8
個人蔵

100
宮脇 綾子
ガラス瓶の中の椿
1979年
アブリケ
32.7×25.8
豊田市美術館

101
宮脇 綾子
魚
1979年
アブリケ
107.5×71.3
個人蔵

102
宮脇 綾子
鶴亀模様の鯛
1979年
アブリケ
41.8×82.5
豊田市美術館

103
宮脇 綾子
きんめ鯛
1979年
アブリケ
26.2×52.5
豊田市美術館

104
宮脇 綾子
ふきのとうの花
1979年
アブリケ
35.2×29.7
豊田市美術館

105
宮脇 綾子
ふたり
1979年
アブリケ
42.0×141.4
豊田市美術館

106
宮脇 綾子
おなかにややこのいる魚
1980年
アブリケ
34.2×49.2
豊田市美術館

107
宮脇 綾子
しいたけ
1980年
アブリケ
32.0×46.5
個人蔵

108
宮脇 綾子
赤い蟹
1981年
アブリケ
29.5×57.5
豊田市美術館

109
宮脇 綾子
筍
1981年
アブリケ
34.4×56.3
豊田市美術館

110
宮脇 綾子
ねぎの芽出し
1981年
アブリケ
35.3×48.3
個人蔵

111
宮脇 綾子
さといも
1981年
アブリケ
36.2×51.3
個人蔵

112
宮脇 綾子
ひの菜
1981年
アブリケ
34.7×31.7
個人蔵

113
宮脇 綾子
伊勢えび
1982年
アブリケ
82.5×58.2
豊田市美術館

114
宮脇 綾子
彼岸花
1982年
アブリケ
55.5×31.5
豊田市美術館

115
宮脇 綾子
れんこん
1982年
アブリケ
100.2×43.2
豊田市美術館

116
宮脇 綾子
メロン
1982年
アブリケ
38.3×51.4
豊田市美術館

117
宮脇 綾子
吊った干しえび
1983年
アブリケ
74.2×56.0
豊田市美術館

118
宮脇 綾子
からす瓜
1983年
アブリケ
43.5×33.0
豊田市美術館

119
宮脇 綾子
あっ、おじいちゃんだ
1985年
アブリケ
44.5×42.5
豊田市美術館

120
宮脇 綾子
フィルターのすゝめ
1985年
アブリケ
152.5×108.0
豊田市美術館

121
宮脇 綾子
華
1985年
アブリケ
44.0×56.8
豊田市美術館

122
宮脇 綾子
皮はぎ
1985年
アブリケ
31.0×48.0
豊田市美術館

123
宮脇 綾子
鱈の干物
1986年
アブリケ
56.0×44.0
豊田市美術館

124
宮脇 綾子
ひょうたん
1986年
アブリケ
49.5×49.5
個人蔵

125
宮脇 綾子
芽の出たさつまいも
1987年
アブリケ
35.0×48.0
豊田市美術館

126
宮脇 綾子
鈍豆
1989年
アブリケ
54.0×90.0
豊田市美術館

127
宮脇 綾子
麻縫綴り合せ壁掛
制作年不詳
アブリケ
181.0×177.0
名古屋市博物館

128
宮脇 綾子
木綿藍型染干柿
制作年不詳
アブリケ
28.7×18.1
豊田市美術館

129
宮脇 綾子
はりえ日記
1972-90年
水彩、アブリケ
30.2×21.0
豊田市美術館

卒寿記念 高橋節郎—漆絵から鎗金へ / 1930-60年代—

平成16年4月13日(火)—6月20日(日) 〈61日間〉

大正から昭和にかけて日本の工芸界は大きく変革し、これに刺激され、第二第三の改革を目指す若い工芸家たちが次々と新しい試みを展開していった。このような時代の中で、高橋節郎(1914年—)の漆芸作家としての活動がスタートしたのである。

本展では、高橋が東京美術学校を卒業後、様々な表現を模索した1930年代から、独自の世界を確立していく60年代にかけての作風の変遷を紹介するとともに、高橋が影響を受けた作家の作品や資料類も展示し、彼の作品の根底に流れるものを検証した。

〔観覧料〕 一般600円<400円> 高校・大学生400円<300円>

小・中学生以下無料 < >内は前売券、及び20名以上の団体料金

〔主催〕 豊田市美術館、(財)高橋記念美術文化振興財団、朝日新聞社

〔出品作品〕 84点

〔入場者数〕 11,797人

〔関連事業〕

記念講演会 「高橋節郎と近代工芸」

講 師：金子賢治(東京国立近代美術館工芸課長)

日 時：平成16年5月1日(土) 午後2時—3時30分

会 場：豊田市美術館 講堂

学芸員による作品解説

日 時：平成16年4月18日(日)、5月15日(土)、30日(日)、6月19日(土)

午後3時—

会 場：高橋節郎館展示室

美術館コンサート「安曇野からのたより」

日 時：平成16年4月17日(土) 午後2時—3時30分

出 演：ラス・フローラス(ピセンテ上松ほか)

会 場：豊田市美術館 講堂

ミニ・コンサート

日 時：会期中の土・日・祝日(4月17日、6月13日(日)を除く)

①午後12時30分— ②午後1時30分— の各30分

会 場：高橋節郎館展示室

〔印刷物〕 ポスター：B2判 チラシ：A4判

ギャラリーガイド：29.7×42.0cm(三つ折り)

〔グラフィック・デザイン〕 與語秀樹

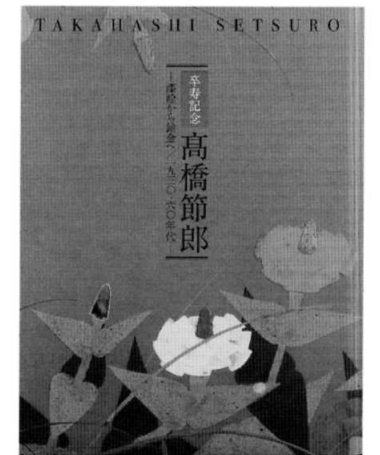
〔作品輸送・展示〕 日本通運株式会社

〔会場設営〕 株式会社カトウスタヂオ

〔担当学芸員〕 田境志保



ポスター



カタログ



展示風景

出品作品

1
高橋 節郎
日日草紋衣裳箱
1938年
彩研出蒔絵
45.5×69.5×14.5
個人蔵(寄託作品)

2
高橋 節郎
ひなげしの図小屏風
1940年
彩研出蒔絵
67.0×182.0
個人蔵

3
高橋 節郎
漆朝夕衝立
1942年
彩研出蒔絵
120.0×146.0×38.0
個人蔵

4
高橋 節郎
紅梅白梅漆手筥
1944年
蒔絵
13.5×38.0×29.0
個人蔵

5
高橋 節郎
菊籬蒔絵文庫
1946年
蒔絵
17.0×34.0×43.5
個人蔵

6
高橋 節郎
羽紋陶胎漆器
1947年
陶胎漆器
H22.0 φ25.0
個人蔵

7
高橋 節郎
バラとカラジウム
1950年
鎔金
45.0×38.0
安曇野高橋節郎記念美術館

8
高橋 節郎
花の星座
1949年
彩研出蒔絵、アルミニウム合金板
42.0×110.0
豊田市美術館

9
高橋 節郎
星座
1951年
蒔絵、螺鈿、アルミニウム合金板
30.0×30.0
個人蔵

10
高橋 節郎
海辺の静物
1952年
鎔金
45.5×37.5
安曇野高橋節郎記念美術館

11
高橋 節郎
街と花火
1952年
蒔絵、螺鈿、アルミニウム合金
77.3×98.8
個人蔵(寄託作品)

12
高橋 節郎
室内
制作年不詳
彩漆絵
19.0×29.0
個人蔵

13
高橋 節郎
森
1953年
彩漆絵、鎔金 箔押し、アルミニウム合金板
173.0×191.0
個人蔵

14
高橋 節郎
踊り
1954年
鎔金、アルミニウム合金板
112.3×84.6
豊田市美術館

15
高橋 節郎
踊り(A)
1954年
鎔金
19.0×19.0
財団法人 高橋記念美術文化振興財団

16
高橋 節郎
《踊り》下図
1954年
鉛筆、紙
27.4×21.2、
27.4×21.2
豊田市美術館

17
高橋 節郎
《踊り》下図 B
制作年不詳
鉛筆、紙
27.5×21.0
豊田市美術館

18
高橋 節郎
ムーンライト
1953年
木芯乾漆、金属、糸
44.5×13.0
個人蔵

19
高橋 節郎
乾漆壺21
1955年頃(1989年再制作)
藍胎乾漆、麻縄
H34.2
豊田市美術館

20
高橋 節郎
都会の歌
1955年
鎔金、螺鈿
127.0×212.0
個人蔵

21
高橋 節郎
古代幻想
1953年
鎔金
40.5×30.5
安曇野高橋節郎記念美術館

22
高橋 節郎
遥かなる郷愁
1956年
鎔金
157.5×109.0
個人蔵(寄託作品)

23
高橋 節郎
都会にだって「みのり」はある
1956年
鎔金
123.0×250.0
日本芸術院

24
高橋 節郎
青い絨毯・赤い絨毯
1955年
鎔金
73.0×60.0
個人蔵

25
高橋 節郎
広間に置く棚「作品58」
1958年
堆朱絵、箔押し
75.0×50.0×150.0
豊田市美術館

26
高橋 節郎
杉の木の寓話
1959年
鎔金
121.4×243.2
豊田市美術館

27
高橋 節郎
蟹気楼
1960年
鎔金、螺鈿
197.5×182.0
豊田市美術館

28
高橋 節郎
化石譜
1964年
鎔金
180.0×180.0
日本芸術院

29
高橋 節郎
蟹気楼「空中都市」
1961年
鎔金、朱叩き塗
187.8×181.6
豊田市美術館

30
高橋 節郎
蟹気楼「空中都市」下図
1960年
鉛筆、水彩、紙
35.6×27.3、
35.7×27.2
豊田市美術館

31
高橋 節郎
化石
1963年
彩錆絵
180.0×150.0
豊田市美術館

32
高橋 節郎
古墳
1964年
彩錆絵
123.3×95.3
豊田市美術館

33
高橋 節郎
化石深海 A
1964年
漆版画、和紙
63.4×95.3
豊田市美術館

34
高橋 節郎
化石深海 B
1964年
漆版画、和紙
59.5×95.0
豊田市美術館

35
高橋 節郎
化石の年輪
1965年
鎔金、彩錆絵
182.8×182.6
豊田市美術館

36
高橋 節郎
化石詩
1966年
彩錆絵
83.5×112.5

37
高橋 節郎
化石群
1967年
鎔金、彩錆絵
130.3×95.0
豊田市美術館

38
高橋 節郎
化石帯
1968年
鎔金、彩錆絵
116.0×90.0
東京都現代美術館

39
高橋 節郎
層
1969年
鎔金、彩錆絵
104.3×88.5

40
高橋 節郎
楓盆
1945-54年
金胎漆器
φ41.2
個人蔵

41
高橋 節郎
楓皿
1945-54年
金胎漆器
φ16.5
個人蔵

42
高橋 節郎
二等辺三角水盤 濃赤1
制作年不詳
陶胎漆器、漆絵
4.0×25.0×30.0
豊田市美術館

43
高橋 節郎
あやめ
1945年
木胎漆器
φ27.0
安曇野高橋節郎記念美術館

44
高橋 節郎
果物
1946年
木胎漆器
φ27.0
安曇野高橋節郎記念美術館

45
高橋 節郎
蕎麦
1955-64年
漆絵
φ27.4
豊田市美術館

46
高橋 節郎
櫻
1955-64年
漆絵
φ27.4
豊田市美術館

47
高橋 節郎
風信子
1955-64年
漆絵
φ27.4
豊田市美術館

48
高橋 節郎
鏡 A
1955-64年
漆絵
φ27.3
豊田市美術館

49
高橋 節郎
酒場
1955-64年
漆絵
φ27.2
豊田市美術館

50
高橋 節郎
帯留
1930年代後半
木胎漆器
φ3.5
安曇野高橋節郎記念美術館

51
高橋 節郎
エッグスタンド
1953年
化学塗料、金属
14.5×6.2×5.8
豊田市美術館

52
高橋 節郎
エッグスタンド
1953年
化学塗料、金属
14.2×8.6×6.1
豊田市美術館

53
高橋 節郎
エッグスタンド
1953年
化学塗料、金属
14.0×6.0×5.0
豊田市美術館

54
高橋 節郎
シルクハット
1953年
化学塗料、金属
7.6×12.3×10.5
豊田市美術館

55
高橋 節郎
シルクハット
1953年
化学塗料、金属
7.3×12.4×10.6
豊田市美術館

56
高橋 節郎
シルクハット
1953年
化学塗料、金属
7.3×12.4×10.2
豊田市美術館

57
高橋 節郎
ゴールデンデリシャス
1953年
化学塗料、金属
2.8×13.9×11.6
豊田市美術館

58
高橋 節郎
ゴールデンデリシャス
1953年
化学塗料、金属
1.2×13.9×11.6
豊田市美術館

59
高橋 節郎
ゴールデンデリシャス
1953年
化学塗料、金属
1.3×14.2×11.8
豊田市美術館

60
高橋 節郎
ゴールデンデリシャス
1953年
化学塗料、金属
1.3×14.1×11.8
豊田市美術館

61
高橋 節郎
ラッキープレート
1953年
化学塗料、金属
1.1×12.5×10.3
豊田市美術館

62
高橋 節郎
ラッキープレート
1953年
化学塗料、金属
1.3×12.4×10.4
豊田市美術館

63
高橋 節郎
ラッキープレート
1953年
化学塗料、金属
1.3×12.4×10.4
豊田市美術館

64
高橋 節郎
四角ユニット白
1938年
木胎漆器
6.3×10.5×10.5
豊田市美術館

65
高橋 節郎
四角ユニット赤
1938年
木胎漆器
6.4×10.6×10.6
豊田市美術館

66
高橋 節郎
四角ユニット黒
1938年
木胎漆器
6.4×10.6×10.6
豊田市美術館

67
高橋 節郎
三角ユニット花器Ⅰ
1950年代
木胎漆器
27.3×10.5×9.0
豊田市美術館

68
高橋 節郎
三角ユニット花器Ⅰ
1950年代
木胎漆器
27.3×10.5×9.0
豊田市美術館

69
高橋 節郎
三角ユニット花器Ⅰ
1950年代
木胎漆器
27.3×10.5×9.0
豊田市美術館

70
高橋 節郎
花器
1950年代
木胎漆器
18.2×14.0×6.6
安曇野高橋節郎記念美術館

71
高橋 節郎
半月型水盤 黒
1950年代
陶胎漆器
5.5×35.5×16.5
豊田市美術館

72
高橋 節郎
花器百態 3
1950年代
陶胎漆器
20.6×18.8×13.0
豊田市美術館

73
高橋 節郎
花器百態 6
1950年代
陶胎漆器
10.2×26.9×21.8
豊田市美術館

74
山崎 覚太郎
菓子鉢
1945-54年
木胎漆器
6.0×22.5×22.5
個人蔵

75
山崎 覚太郎
漆器 空 小屏風
1950年
漆絵
55.0×175.0
富山県水墨美術館

76
高橋 節郎
果物盛器 下図
1937年
鉛筆、紙
46.5×45.1
個人蔵

77
型會第一回発表展 作品目録
1938年
15.2×35.8
個人蔵

78
創作工芸協會 第一回展目録
1952年
18.1×12.9
個人蔵

79
工芸「円心」第一回展 リーフレット
1960年
16.0×13.5
個人蔵

80
高橋 節郎
日本現代工芸美術展 第一回展目録
1962年
17.2×18.7
個人蔵

81
勅使河原蒼風からの手紙(高橋謙郎宛)
1938年
18.5×440.0
個人蔵

82
小杉二郎からの手紙
1940年頃
26.0×36.5
個人蔵

83
父への手紙
1936年
19.0×160.0
個人蔵

84
父への手紙
1944年
18.9×8.6
個人蔵

イメージの水位 ナルキッソスをめぐる変容と反射

平成16年7月6日(火)ー9月5日(日) 《55日間》 展示室8

水辺にたたずむナルキッソスがふと水面を見つめ、自らを見出し、その姿に我を忘れる。この水鏡をめぐる神話は、絵画史そのものに触れる。変化する外界を求め、足しげく海岸を訪れた画家たち(印象主義)が、いつしか視ることの主観性を知り(ポスト印象主義者)、ついには画面になまなましく自己を投ずる(抽象表現主義者)。ルネサンスの万能人アルベルティが早くも15世紀に予見したこのナルキッソス/画家の転生は、時代・地域を越え、たとえば主客一如の構えで水面に向き合う20世紀の日本画家を、あるいはビデオ作品のうちに流動する自意識をたぐる現代のアーティストをも巻き込むものである。

本展は、主催館の所蔵作品に加え、国内外の重要作品を、3つのセクションで紹介。19世紀から現代にいたるイメージの波紋を横断し、水位と自意識の接点を検証した。

【観覧料】 一般1,000円<800円> 高校・大学生800円<600円>

中学生以下無料 < >内は20名以上の団体料金

【主催】 豊田市美術館

【出品作品】 85点

【入場者数】 9,533人

【関連事業】

記念講演会 「イメージの根源、根源のイメージ 鏡像、影、痕跡」

講師：岡田温司(京都大学大学院教授)

日時：平成16年7月24日(土) 午後2時-3時30分

会場：豊田市美術館 講堂

学芸員によるスライド&トーク

日時：平成16年7月17日(土)、8月7日(土)、14日(土)

午後3時-4時

会場：豊田市美術館 講堂

学芸員によるスポット・トーク

日時：毎週土曜日 午後1時30分-

会場：展示室8

作品ガイド・ボランティアによるスポット・トーク

日時：毎週土曜日 午後1時-

会場：展示室8

作品ガイド・ボランティアによるギャラリートゥアー

日時：木曜日をのぞく毎日午後2時-

会場：展示室8

映画上映

タルコフスキー「鏡」(1957年ソ連)

日時：平成16年7月11日(日)、25日(日) 午後1時-



ポスター

カタログ



展示風景

コクトー「オルフェ」(1949年フランス)

日時：平成16年8月22日(日)、29日(日) 午後3時-

会場：豊田市美術館 講堂

美術館コンサート「ゆらぎ 音楽から見た水の世界」

出演：名古屋フランス音楽研究会

日時：平成16年7月18日(日) 午後2時-

【印刷物】 ポスター：B1判、B2判 チラシ：A4判

カタログ：B5判変形(25.7×18.4cm/112ページ)

ギャラリートゥアーガイド：21×44.2cm(三つ折り)

【グラフィック・デザイン】 近藤一弥

【作品輸送・展示】 ヤマトロジスティクス株式会社

【会場設営】 株式会社太陽社

【担当学芸員】 金井直 成瀬美幸

出品作品

1
アンドレーア・アルチャート
『エンブレマタ』69番(ナルキッソス)
1618年
本
16
名古屋大学情報・言語合同図書室

2
オノレ・ドーミエ
『古代史』より「ナルキッソス」
1842年
リトグラフ
33.3×25.0
伊丹市立美術館

3
アンドレ・マッソン
ナルキッソス
1934年
油彩、カンヴァス
114.0×94.0
横浜美術館

4
香月 泰男
水鏡
1942年
油彩、カンヴァス
72.3×116.5
東京国立近代美術館

5
梅原 龍三郎
ナルシス
1913年
油彩、カンヴァス
75.0×59.5
東京国立近代美術館

6
梅原 龍三郎
自画像
1911年
油彩、カンヴァス
72.0×58.5
東京国立近代美術館

7
青木 繁
自画像
1905年
油彩、厚紙
33.7×24.6
三重県立美術館

8
安井 曾太郎
自画像
1906年
油彩、板
31.8×21.8
東京国立博物館

9
岸田 劉生
自画像
1913年
油彩、カンヴァス
45.6×30.8
豊田市美術館

10
中村 彝
自画像
1916年
油彩、カンヴァス
45.5×37.5
愛媛県美術館

11
小出 橋重
自画像
1920年
油彩、板
19.5×16.3
芦屋市立美術館

12
藤田 嗣治
自画像
1943年
油彩、カンヴァス
23.0×15.0
豊田市美術館

13
アンディ・ウォーホル
6枚組の自画像
1966年
シルクスクリーン、カンヴァス
169×112
東京都現代美術館

14
ローマン・オノルカ
OPALKA 1965/1-∞ Detail 2601104-2626001
1977年
アクリル、カンヴァス
192.0×135.0
豊田市美術館

15
草間 彌生
No.AB.
1959年
油彩、カンヴァス
210.3×414.4
豊田市美術館

16
リチャード・ハミルトン
鏡像
1974年
コロタイプ
62.6×47.9
川村記念美術館

17
ミケランジェロ・ピストレット
窃視者
1962.72年
アクリル、ステンレス、薄葉紙
120.0×230.0
豊田市美術館

18
ロイ・リキテンスタイン
鏡
1972年
シルクスクリーン
71.0×71.0、4点組
川村記念美術館

19
シャル＝フランソワ・ドービニー
渡し舟、ブロン島の思い出
1850年
エッチング、ドライポイント
18.8×11.4
横浜美術館

20
シャル＝フランソワ・ドービニー
船中のアトリエ
1862年
エッチング
12.9×17.8
横浜美術館

21
シャル＝フランソワ・ドービニー
ヴァルモンドワの小川
1847年
油彩、カンヴァス
116.0×91.4
千葉県立美術館

22
シャル＝フランソワ・ドービニー
オワーズ川のほとり
1865年
油彩、カンヴァス
73.7×110.5
千葉県立美術館

23
アントニオ・フォンタネージ
池と樹木
1870-72年
油彩、板
33.0×36.0
千葉県立美術館

24
ギュスターヴ・クールベ
波
1869年
油彩、カンヴァス
49.0×73.0
愛媛県美術館

- 25
ウジェーヌ＝ルイ・ブーダン
プレスト、停泊地
1872年
油彩、カンヴァス
55.2×89.5
愛媛県美術館
- 26
クロード・モネ
セーヌ河の日没、冬
1880年
油彩、カンヴァス
60.6×81.1
ポーラ美術館(ポーラ・コレクション)
- 27
クロード・モネ
ヴァランジュヴィルの風景
1882年
油彩、カンヴァス
64.9×81.0
ポーラ美術館(ポーラ・コレクション)
- 28
クロード・モネ
睡蓮、柳の反映
1916-19年
油彩、カンヴァス
130.0×200.0
北九州市立美術館
- 29
藤島 武二
浜辺
1898年
油彩、板
23.5×32.5
三重県立美術館
- 30
藤島 武二
海(日の出)
1931年
油彩、カンヴァス
33.4×45.8
三重県立美術館
- 31
藤島 武二
暁の海
1931-32年頃
油彩、カンヴァス
33.5×46.0
メナード美術館
- 32
青木 繁
布良藻屑拾
1904年
油彩、板
12.0×16.5
メナード美術館
- 33
岸田 劉生
上水の春日
1915年
油彩、カンヴァス
37.8×45.2
ひろしま美術館
- 34
小出 橋重
海
1930年
油彩、カンヴァス
64.5×79.3
東京国立近代美術館
- 35
長谷川 利行
大島の海
1937年
油彩、カンヴァス
37.5×45.5
メナード美術館
- 36
山本 鼎
外房しげのあと
1942年
油彩、カンヴァス
117.0×90.9
三重県立美術館
- 37
山口 長男
池
1936年
油彩、カンヴァス
65.3×92.0
東京国立近代美術館
- 38
山口 長男
午前の保田海岸
1959年
油彩、板
22.2×27.0
千葉市美術館
- 39
巖光
海
1943年
油彩、カンヴァス
72.3×90.7
広島県立美術館
- 40
瑛九
泉
1959年
油彩、板
97.0×130.0
国立国際美術館
- 41
徳岡 神泉
池
1952年
紙本着色
129.9×174.8
京都国立近代美術館
- 42
徳岡 神泉
流れ
1954年
紙本着色
137.0×170.0
京都市美術館
- 43
池田 遙邨
石
1957年
紙本着色
179.0×120.0
倉敷市立美術館
- 44
小野 竹喬
沼
1970年
紙本着色
119.5×157.8
京都市美術館
- 45
ピエト・モンドリアン
コンポジション
1916年
油彩、鉛筆、カンヴァス
124.5×75.0
京都国立近代美術館
- 46
ジャクソン・ポロック
緑、黒、黄褐色のコンポジション
1951年
家庭用塗料、エナメル、カンヴァス、メゾナイト
50.8×139.7
川村記念美術館
- 47
ジョアン・ミッチェル
湖
1954年
油彩、カンヴァス
203.2×254.5
静岡県立美術館
- 48
サム・フランシス
無題
1956年
アクリル、紙
75.8×111.4
出光美術館
- 49
サム・フランシス
ブルー・ボールズII
1960年
油彩、カンヴァス
220.0×280.0
出光美術館
- 50
サム・フランシス
ワン・オーシャン、ワン・カップ
1974年
アクリル、カンヴァス
220.5×280.5
川村記念美術館
- 51
マーク・ロスコ
無題
1961年
油彩、カンヴァス
175.6×138.0
福岡市美術館
- 52
ブリジット・ライリー
朝の歌
1975年
アクリル、カンヴァス
211.0×272.0
川村記念美術館
- 53
ロイ・リキテンスタイン
雲のある海景
1965年
油彩、マグナ、カンヴァス
142.3×173.1
福岡市美術館
- 54
デイヴィッド・ホックニー
水のリトグラフ(太線、細線、緑とライトブルーと
ダークブルーの淡彩)
1978-80年
リトグラフ
66.0×87.6
東京都現代美術館
- 55
デイヴィッド・ホックニー
水のリトグラフ(線)
1978年
リトグラフ
66.0×87.6
東京都現代美術館
- 56
デイヴィッド・ホックニー
水のリトグラフ(線、緑の淡彩)
1978-80年
リトグラフ
66.0×87.6
東京都現代美術館
- 57
デイヴィッド・ホックニー
水のリトグラフ(線、緑とライトブルーの淡彩)
1978-80年
リトグラフ
66.0×87.6
東京都現代美術館
- 58
デイヴィッド・ホックニー
水のリトグラフ(太線、2種類のライトブルーの淡彩)
1978-80年
リトグラフ
66.0×87.6
東京都現代美術館
- 59
デイヴィッド・ホックニー
水のリトグラフ(太線、細線、2種類のライトブルーの淡彩)
1978-80年
リトグラフ
66.0×87.6
東京都現代美術館
- 60
デイヴィッド・ホックニー
水のリトグラフ(太線、細線、ライトブルー、ダーク
ブルーの淡彩)
1978-80年
リトグラフ
66.0×87.6
東京都現代美術館
- 61
北脇 昇
海上へ(好奇)―集団制作「浦島物語」より
1937年
油彩、画布
46.0×55.0
京都市美術館
- 62
赤瀬川 原平
あいまいな海のスイーター
1961-62年
デカルコマニー、コラージュ、紙
39.6×27.4
千葉市美術館
- 63
赤瀬川 原平
あいまいな海のスカート
1961-62年
デカルコマニー、コラージュ、紙
38.0×29.2
千葉市美術館
- 64
中西 夏之
作品―たとえば波打ち際にて I
1985年
油彩、カンヴァス
194.0×142.0
豊田市美術館
- 65
嶋 剛
無題D
1981年
アクリル、カンヴァス
112.0×324.0
国立国際美術館
- 66
堀 浩哉
池へ―81.4
1981年
アクリル、カンヴァス
227.0×182.0
作家蔵
- 67
堀 浩哉
波―15
1985年
アクリル、オイルスティック、岩絵具、カンヴァス
227.0×182.0
作家蔵
- 68
諏訪 直樹
波涛図 No.2
1980年
アクリル、カンヴァス
194.0×222.0×79.0
個人蔵
- 69
榎倉 康二
予兆―海・肉体(P. W. No. 40)
1971年
ゼラチン・シルバークラフト
15.5×24.0
国立国際美術館
- 70
榎倉 康二
Story & Memory (P. W. No. 112)
1993年
ゼラチン・シルバークラフト
15.5×24.0
国立国際美術館
- 71
杉本 博司
North Atlantic Ocean, Cliffs of Moher
1989年
ゼラチン・シルバークラフト
41.9×53.7
千葉市美術館
- 72
杉本 博司
North Atlantic Ocean, Cliffs of Moher
1989年
ゼラチン・シルバークラフト
41.9×53.7
千葉市美術館

- 73
杉本 博司
Ionian Sea, Santa Cesarea
1990年
ゼラチン・シルバープリント
41.9×53.7
千葉市美術館
- 74
杉本 博司
Aegean Sea, Pilion
1990年
ゼラチン・シルバープリント
41.9×53.7
千葉市美術館
- 75
杉本 博司
Black Sea, Ozuluce
1991年
ゼラチン・シルバープリント
41.9×53.7
千葉市美術館
- 76
杉本 博司
Boden Sea, Uttwil
1993年
ゼラチン・シルバープリント
41.9×53.7
千葉市美術館
- 77
杉本 博司
Ligurian Sea, Saviore
1993年
ゼラチン・シルバープリント
41.9×53.7
千葉市美術館
- 78
杉本 博司
Tyrrhenian Sea, C. Vaticano
1993年
ゼラチン・シルバープリント
41.9×53.7
千葉市美術館
- 79
杉本 博司
Tyrrhenian Sea, Scilla
1993年
ゼラチン・シルバープリント
41.9×53.7
千葉市美術館
- 80
杉本 博司
Celtic Sea, Boscastle
1994年
ゼラチン・シルバープリント
41.9×53.7
千葉市美術館

- 81
杉本 博司
Lake Superior, Cascade River
1995年
ゼラチン・シルバープリント
41.9×53.7
千葉市美術館
- 82
ソフィ・カル
盲目の人々ー視野の果てまで広がる海
1986年
ミクストメディア
サイズ可変
豊田市美術館
- 83
マックス・クリンガー
オヴィディウスの『変身譚』の犠牲者の救済、
作品Ⅱより第7葉：ナルキッソスとエコーⅠ
1879年
エッチング、アクアチント
27.0×39.8
高知県立美術館
- 84
マックス・クリンガー
オヴィディウスの『変身譚』の犠牲者の救済、
作品Ⅱより第8葉：ナルキッソスとエコーⅡ
1879年
エッチング、アクアチント
27.4×18.2
高知県立美術館
- 85
アンゼラム・キーファー
重い水
1987年
写真、銀箔、鉛
70.0×50.0×5.0
豊田市美術館

イン・ベッド —生命の美術—

平成16年10月5日(火)ー12月26日(日) 〈73日間〉 展示室6ー8、エントランス

ベッドは、人類の歴史とともにある。それは人々の様々な営みと、喜怒哀楽の場であったし、間違いなく舞台であり続けるだろう。それ故、古代から現代に到るまで、ベッドはそれぞれの時代の表現者たちにとって、時代を見通す切り口として、欠くことのできない重要なモチーフであり続けた。

本展は、誕生と死、安らぎと病、眠りと夢、そして性愛と快楽という4つのセクションで構成した。絵画、彫刻にとどまらず、写真、映像を出品作品に取り込むことで現代美術の表現の多様性を示すとともに、現代を代表する作家たちが、人間とベッドとの関わりを通して、人間の存在をどのように捉え、表現しようとしているかを観照しようとしたものである。

【観覧料】 一般1,000円<800円> 高校・大学生800円<600円>

中学生以下無料 〈 〉内は20名以上の団体料金

【主催】 豊田市美術館

【協賛】 トヨタ自動車株式会社、アイシン精機株式会社、

日本ビクター株式会社、日本航空

【出品作品】 50点

【入場者数】 11,716人

【関連事業】

記念講演会

「枕の中の声ー一夜の身体と詩を書くことについてー」

講師：多和田葉子

日時：平成16年10月10日(日) 午後2時ー3時30分

会場：豊田市美術館 講堂

周川ひとみ 舞踏パフォーマンス 「エロスと死」を舞う

舞踏：周川ひとみ

日時：平成16年11月3日(水・祝) 午後2時ー3時

会場：「イン・ベッド」展示室8

美術館コンサート 「AMOURー愛ー」

演奏：NASKAクラリネット合奏団

日時：平成16年12月19日(日)

午後2時ー

会場：豊田市美術館 講堂

学芸員によるギャラリー・トーク

日時：第2、第4土曜日 午後2時ー

ガイド・ボランティアによるギャラリー・ツアー

日時：木曜日を除く毎日 午後2時ー

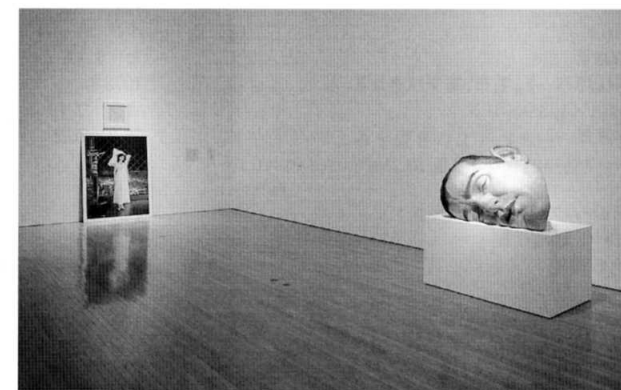
(ただし、関連イベント開催日は午前11時ー)



ポスター



カタログ



展示風景

【印刷物】 ポスター：B1判、B2判 チラシ：A4判

カタログ：25.7×19.0cm/150ページ

【グラフィック・デザイン】 矢萩喜徳郎

【作品輸送・展示】 ヤマトロジスティクス株式会社

【会場設営】 株式会社伏見工芸

【企画協力】 ステファン・クーラー

【担当学芸員】 青木正弘 都筑正敏

出品作品

- 1
 ジョルジュ・アデアグボ
 インザベッド
 2004年
 ミクストメディア
 サイズ可変
 作家蔵
- 2
 荒木 経惟
 センチメンタルな旅
 1971年
 モノクロームプリント、パライタ紙
 各：34.0×41.0(19点)
 作家蔵
- 3
 荒木 経惟
 冬の旅
 1989-90年
 モノクロームプリント、パライタ紙
 各：34.0×41.0(16点)
 作家蔵
- 4
 ヨーゼフ・ボイス
 キャンペーンベッド
 1982年
 キャンペーンベッド、蓄電池、フェルト、木、銅、鉄
 59.0×242.0×121.0
 アンソニー・ドフェイ・リミテッド蔵
- 5
 クリスチャン・ボルタンスキー
 ベッド
 1998年
 病院用ベッド、毛布、電気スタンド
 226.1×193.0×81.3
 作家蔵
- 6
 ジェームズ・リー・バイヤース
 資料：記録写真
 1996-97年
 カラープリント
 16点
 個人蔵
- 7
 ジェームズ・リー・バイヤース
 資料：ナブキン
 1997年
 サインペンによる手書きの文字、ナブキン
 52.5×54.0
 個人蔵
- 8
 ソフィ・カル
 眺めのある部屋
 2002年
 モノクロームプリント
 170.0×120.0、50.0×50.0(2点組)
 作家蔵

- 9
 ビエル・ノボロ・カルツォラーリ
 ベッド、黒板、ランプ、バラ
 1972年(マルチプル1975年)
 ベッド、黒板、ランプ、バラ
 200.0×160.0×164.5
 豊田市美術館
- 10
 マルレーネ・デュマス
 協会のもたらした死
 2002年
 油彩、カンヴァス
 70.0×80.0
 個人蔵
- 11
 マルレーネ・デュマス
 作家の死
 2003年
 油彩、カンヴァス
 40.0×50.0
 ジョリー・ヴァン・リーウーエン氏蔵
- 12
 ナン・ゴールディン
 眉毛を脱色しているブルース、
 プレザントストリート、ケンブリッジ
 1975年
 カラープリント
 101.6×69.5
 作家蔵
- 13
 ナン・ゴールディン
 セックスをしているスキンヘッド、ロンドン
 1978年
 カラープリント
 76.2×76.2
 作家蔵
- 14
 ナン・ゴールディン
 黄色いホテルの部屋のスザンヌ、ホテル・セビル、
 メリダ、メキシコ
 1981年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵
- 15
 ナン・ゴールディン
 ホテルの部屋の三つのベッドとブライアン、
 メリダ、メキシコ
 1982年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵

- 16
 ナン・ゴールディン
 モーテルの窓、バレンケ、メキシコ
 1982年
 カラープリント
 101.6×69.5
 作家蔵
- 17
 ナン・ゴールディン
 ベッドのナンとブライアン、ニューヨーク
 1983年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵
- 18
 ナン・ゴールディン
 スクオアティットハウスの血まみれのベッドルーム、
 ベルリン
 1984年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵
- 19
 ナン・ゴールディン
 クッキーとヴィットリオの結婚：指輪、
 ニューヨーク
 1987年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵
- 20
 ナン・ゴールディン
 私のホテルの部屋、バレンシア、スペイン
 1987年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵
- 21
 ナン・ゴールディン
 日記を書いているセルフ・ポートレート、
 ボストン
 1989年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵
- 22
 ナン・ゴールディン
 ヴィットリオの棺の傍らのクッキー、
 ニューヨーク
 1989年9月16日
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵

- 23
 ナン・ゴールディン
 Aハウスでのシュボーンのスード、
 プロヴィンスタウン
 1990年
 カラープリント
 101.6×69.5
 作家蔵
- 24
 ナン・ゴールディン
 ギルの腕、パリ
 1993年
 カラープリント
 68.3×101.6
 作家蔵
- 25
 ナン・ゴールディン
 ギルにキスをするゴッチョ、パリ
 1993年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵
- 26
 ナン・ゴールディン
 テラスのデヴィッド、ホテルポーリヴァージュ
 ハラス、ローザンヌ
 1998年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵
- 27
 ナン・ゴールディン
 海に浮ぶクリスティーン、セントパース
 1999年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵
- 28
 ナン・ゴールディン
 ヴァレリーとブルーノ：ボディフォーム、パリ
 2001年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵
- 29
 ナン・ゴールディン
 クレメンスの背中の上のジョーの手、パリ
 2001年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵

- 30
 ナン・ゴールディン
 ワールドカップを観るギード、ブリドレバン、
 フランス
 2002年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵
- 31
 ナン・ゴールディン
 蚊帳のなかのジャバロウ、パトラ、ルクソール、
 エジプト
 2003年
 カラープリント
 69.5×101.6
 作家蔵
- 32
 井田 照一
 シリーズー尿画“共鳴画一影”
 1993年
 尿、金属粉、カンヴァス
 各：46.0×38.0(16点)
 作家蔵
- 33
 河原 温
 “I Got up at...”シリーズ
 1976年(1968-79年)
 ゴム印で印刷、絵葉書
 各：10.5×14.7(18点)
 個人蔵
- 34
 ウィリアム・ケントリッジ
 重大な病気の歴史
 1997年
 フィルム：35ミリのアニメフィルムを
 DVDに変換
 5分34秒
 作家蔵
- 35
 イヴ・クライン
 モノクローム・ブルー(IKB 65)
 1960年
 顔料、合成樹脂、カンヴァス
 199.0×152.5
 豊田市美術館
- 36
 倉俣 史朗
 ミス ブランチ
 1988年
 アクリル、造花、アルミニウムパイプにアルマイト
 染色仕上げ
 87.5×62.0×60.0
 株式会社イシマル蔵

- 37
 倉俣 史朗
 花瓶“エフェメーラ”
 1989年
 アクリル、アルミニウムパイプにアルマイト
 染色仕上げ
 140.0×18.0
 クラマタデザイン事務所蔵
- 38
 倉俣 史朗
 ブラセボ
 1989年
 ガラス、アクリル、ステンレススチール
 H75.0、φ36.0
 田中一光アーカイブ蔵
- 39
 倉俣 史朗
 ラビュタ
 1991年
 アクリル、アルミニウムパイプにアルマイト
 染色仕上げ、ポリエステルサテン
 144.0×420.0×68.8
 クラマタデザイン事務所蔵
- 40
 草間 彌生
 ナルシスの庭
 1966年
 プラスチックボール
 φ18.0、1133個
 作家蔵
- 41
 松澤 有
 in bed
 2004年
 サインペンによる手書きの文字、方眼紙
 42.0×29.8、29.8×42.0、90.0×63.0(3点組)
 作家蔵
- 42
 ロン・ミュエク
 ベッドの老女
 2000年
 ミクストメディア
 24.4×94.0×53.9
 カナダ・ナショナル・ギャラリー蔵
- 43
 ロン・ミュエク
 マスク II
 2001-02年
 ミクストメディア
 77.0×118.0×85.0
 アンソニー・ドフェイ・リミテッド蔵

44
 シリン・ネシャット
 パルス(鼓動)
 2001年
 フィルム：16ミリフィルム、35ミリフィルムを
 DVDに変換
 7分30秒
 バーバラ・グラッドストーン・ギャラリー蔵

45
 ヨーコ・オノ
 ベッドイン
 1969年
 フィルム：16ミリフィルムをDVDに変換
 72分
 作家蔵

46
 パブロ・ピカソ
 横たわる女
 1936年
 油彩、カンヴァス
 130.6×162.5
 ボンビドー・センター蔵

47
 アルヌルフ・ライナー
 プラムスのデスマスク
 1978年
 油彩、インディアンインク、写真
 60.0×50.0
 作家、ギャラリーユリス蔵

48
 アルヌルフ・ライナー
 モルトケのデスマスク
 1978年
 油彩、インディアンインク、写真
 60.0×50.0
 作家、ギャラリーユリス蔵

49
 アルヌルフ・ライナー
 スティフターのデスマスク
 1978年
 油彩、インディアンインク、写真
 60.0×50.0
 作家、ギャラリーユリス蔵

50
 ビル・ヴィオラ
 心臓の科学
 1983年
 ヴィデオ サウンド インスタレーション
 作家蔵

河原温 意識、瞑想、丘の上の目撃者

平成17年1月8日(土)ー2月27日(日) 〈45日間〉 展示室1ー4

河原温は、カンヴァスに制作当日の日付のみを描く〈デイト・ペインティング〉の連作、“Today”シリーズによって国際的に知られる作家である。彼自身の生存の証として、1966年から継続されてきたこのシリーズは、今日という時の重みや、普遍的と思いがちな時間がはかないものであることを改めて意識させる。極めてストイックでありながら、人間存在そのものへの思索を促すこの作品によって、河原はヨーロッパやアメリカの美術界に大きな影響を与えてきた。

本展覧会では、“Today”シリーズ、《I Am Still Alive》、《百万年》という代表的な3つの作品によって、生きることに對する河原の透徹した視点と、その芸術の本質を紹介しようと試みた。日常を、描くという行為に凝縮する一方で、100万年という悠久の時間を客体化することによって、自らが生きることを観照する河原温の態度——私たちの意識の深い次元を呼び覚ます彼の作品は、21世紀の新しいパラダイムを模索するうえで、重要な指針となるものであろう。

[観覧料] 一般800円<600円> 高校・大学生600円<400円>

小・中学生無料 〈 〉内は20名以上の団体料金

[主催] 豊田市美術館

[協力] 株式会社フジ大理石

[出品作品] 177点

[関連事業]

記念講演会 「河原温 日曜画家」

講 師：ジョナサン・ワトキンズ(アイコン・ギャラリー館長)

日 時：平成17年1月9日(日) 午後2時ー3時30分

会 場：豊田市美術館 講堂

カップリング・トーク

ガイド：メディエーター、学芸員

日 時：平成17年1月8日(土)、5日(土)、22日(土)、29日(土)、

2月5日(土)、12日(土)、19日(土)、26日(土)

午後2時ー3時30分

会 場：豊田市美術館 展示室

美術館コンサート「美術の森に響くプラスの音」

演 奏：Brass Rising

日 時：平成17年2月5日(日) 午後2時ー

会 場：豊田市美術館 講堂

[印刷物] ポスター：B1判、B2判 チラシ：A4判

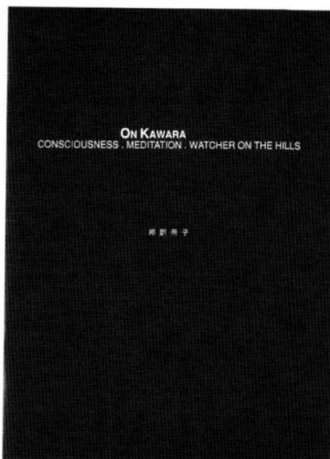
ギャラリーガイド：24.0×72.7cm(四つ折り)

英文図録邦訳冊子：24.2×18.1cm/40ページ

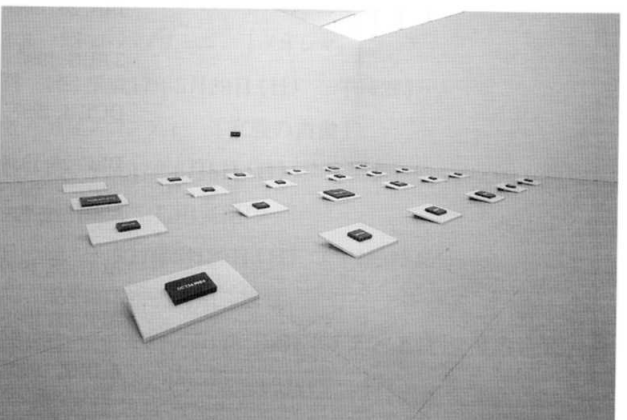
[グラフィック・デザイン] 興語秀樹



ポスター



英文図録邦訳冊子



展示風景

[作品輸送・展示] ヤマトロジスティクス株式会社

[会場設営] 株式会社カトウスタジオ

[担当学芸員] 北川智昭 西崎紀衣 北谷正雄

企画展

1	河原温 百年間の日曜日 1964年 鉛筆、紙 35.5×42.7 作家蔵	"Today"シリーズ 出品作品リスト	AUG. 23, 1998
		JANUARY 30, 1966	AUG. 23, 1998
		NOV.12, 1967	OCT. 10, 1999
		9 JUN. 68	9 JAN. 2000
		16 FEV. 1969	JULY 1, 2001
		MAY 31, 1970	26 MAJ. 2002
		NOV. 21, 1971	SEPT.14, 2003
		AUG. 27, 1972	MAY.9, 2004
		11 FEV. 1973	JAN.2, 2005
		MAR.17, 1974	
		JUNE 8, 1975	
		1. AUG. 1976	
		OCT. 30, 1977	
		DEC. 24, 1978	
		DEC. 2, 1979	
		JULY 6, 1980	
		NOV. 8, 1981	
		JAN. 17, 1982	
		NOV. 27, 1983	
		OCT. 14, 1984	
		JAN. 20, 1985	
		3 AUG. 1986	
		OCT. 4, 1987	
		DEC. 25, 1988	
		SEPT. 17, 1989	
		AUG. 26, 1990	
		APR. 28, 1991	
		6. DEZ. 1992	
		MAY 16, 1993	
		31 JUL. 1994	
		3. SEPT. 1995	
		NOV. 24, 1996	
		MAR. 30, 1997	

アルテ・ポーヴェラ／貧しい芸術

平成17年3月19日(土)ー6月12日(日) 《75日間》 展示室1ー4,8

1967年、ジェノヴァで開かれたグループ展に端を発する芸術家たちのゆるやかな連帯、アルテ・ポーヴェラ(Arte Povera イタリア語で「貧しい芸術」の意)は、60年代の芸術運動にふさわしいラジカルな性格を示す一方、その自然や物質、古典古代との交わり方のうちに、独自の詩学をたたえている。材木や石、ぼろぎれなど、「豊かさ」からは一見かけ離れた、非芸術的な素材を組み合わせ、そこにアーティスト自らの身体や思考を重ねあわせるプロセスは、抽象的な芸術観をすり抜ける具体的行為であり、20世紀末から現在にいたる芸術表現の柔軟性を先取した試みとして、今日、高く評価されている。

本展はアルテ・ポーヴェラを包括的に取り上げる日本初の試みであった。初期作品を含む出品作によって、運動の全体像を示すと同時に、作家間・作品間の差異にも注意を喚起した。

【観覧料】 一般1,000円<800円> 高校・大学生800円<600円>

中学生以下無料 < >内は20名以上の団体料金

【主催】 豊田市美術館、中日新聞社

【後援】 イタリア大使館、イタリア文化会館、東京

2005年愛知万博イタリア政府パビリオン

【協力】 カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館

【協賛】 アリタリア航空

【出品作品】 59点

【入場者数】 9,548人

【関連事業】

アーティスト・トーク

講師：ジルベルト・ゾリオ(出品作家)

日時：平成17年3月19日(土) 午後2時ー3時30分

会場：豊田市美術館 講堂

記念講演会 「アルテ・ポーヴェラをめぐって」

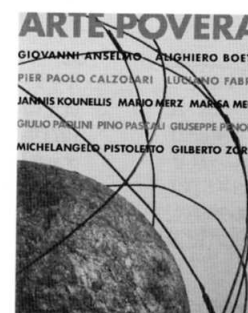
講師：中原佑介(美術評論家)

日時：平成17年4月30日(土) 午後2時ー3時30分

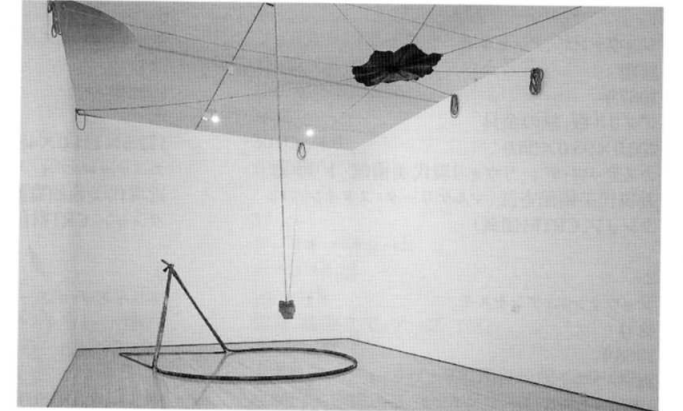
会場：豊田市美術館 講堂



ポスター



カタログ



展示風景

美術史講座 「20世紀イタリア、未来派ーアルテ・ポーヴェラ」

講師：金井直

日時：平成17年4月9日(土)、5月8日(日) 午後3時ー4時

会場：豊田市美術館 講堂

作品ガイド・ボランティアによるギャラリー・ツアー

日時：木曜日をのぞく毎日 午後2時ー

会場：豊田市美術館 講堂

美術館コンサート 「DARIOのイタリアがいっぱい」

出演：ダリオ・ボニッシ(俳優、演出家)

日時：平成17年4月24日(日) 午後2時ー

会場：豊田市美術館 講堂

フィルム+レクチャー 「アルテ・ポーヴェラの頃、イタリアは？」

ミケランジェロ・アントニオーニ 「赤い砂漠」

日時：平成17年5月22日(日) 午後3時ー

ピエル・ノヴォ・パブリーニ 「テオレマ」

日時：平成17年5月29日(日) 午後2時ー

ルキノ・ヴィスコンティ 「家族の肖像」

日時：平成17年6月5日(日) 午後3時ー

レクチャー(講師：石田美紀)

日時：平成17年5月29日(日) 午後3時45分ー

会場：豊田市美術館 講堂

【印刷物】 ポスター：B1判、B2判 チラシ：A4判 案内DM

プレスリリース：A3判(二つ折)

ギャラリーガイド：30.1×64.2cm(三つ折)

カタログ：28.5×22.7cm/236ページ

【グラフィック・デザイン】 西岡勉

【作品輸送・展示】 ヤマトロジスティクス株式会社

【会場設営】 株式会社大和工芸 株式会社モダン装美

【担当学芸員】 金井直 北谷正雄

出品作品

- 1
ジョヴァンニ・アンセルモ
無題
1967年
アクリル板、鉄の金具
200.0×95.0×35.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コレ
クション、CRT財団蔵)
- 2
ジョヴァンニ・アンセルモ
捻り
1968年
鉄、ファスチアン
160.0×160.0
トリノ市近現代美術館(グイド&エットレ・
フォルナリス財団)
- 3
ジョヴァンニ・アンセルモ
無題(食む構造)
1968年
レタス、銅線、石
60.0×25.0×25.0
ピストレット財団
- 4
ジョヴァンニ・アンセルモ
呼吸
1969年
鉄、海綿
13.0×945.0×6.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(CRT財団蔵)
- 5
ジョヴァンニ・アンセルモ
無題
1969年
石、スチール線、金具
サイズ可変
作家蔵
- 6
ジョヴァンニ・アンセルモ
不可視
1971年
スライド、プロジェクター
サイズ可変
作家蔵
- 7
アリギエロ・ボエッティ
2メートルの手すり
1966年
鉄、ニス、クロームメッキ
80.0×200.0×40.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コレ
クション、CRT財団蔵)

- 8
アリギエロ・ボエッティ
はしご
1966年
木
172.5×111.0×48.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コレ
クション、CRT財団蔵)
- 9
アリギエロ・ボエッティ
いす
1966年
木
89.5×37.0×39.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コレ
クション、CRT財団蔵)
- 10
アリギエロ・ボエッティ
ジグ・ザグ
1966年
綿布、アルミニウム
51.4×51.4×51.4
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コレ
クション、CRT財団蔵)
- 11
アリギエロ・ボエッティ
地図
1971-73年
リネン布
232.0×38.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館寄託(A・
M・ソゾー・ボエッティ・コレクション)
- 12
アリギエロ・ボエッティ
オノニモ
1972-73年
インク、紙
70.0×100.0 11点組
豊田市美術館
- 13
アリギエロ・ボエッティ
アリギエロ・ボエッティ
1975年
インク、紙
70.0×100.0
豊田市美術館
- 14
ピエル・パオロ・カルツォラーリ
無題
1966年
テンペラ、カルトン
70.0×250.0
トゥッチ・ルッソ ステュディオ・ベル・ラルテ・
コンテンポラーネア

- 15
ピエル・パオロ・カルツォラーリ
私を演奏させる甘美な笛
1968年
鉛、銅、ブロンズの文字、錫、冷凍装置
5.0×46.0×88.0、100.0×200.0
個人蔵 協力：リヒテンシュタイン美術館
- 16
ピエル・パオロ・カルツォラーリ
あるべき私の寝台
1968年
銅、真鍮、苔、バナナの葉、ブロンズ鑄造の文字
35.0×175.0×150.0
作家蔵
- 17
ピエル・パオロ・カルツォラーリ
無題
1970-71年
ランプ、スピーカー、ネオン
サイズ可変
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館
- 18
ピエル・パオロ・カルツォラーリ
月
1980年
板に混合技法、金属三脚、鉄のコーヒー沸かし、
テラコッタの台座
281.0×200.0×110.0
トリノ市近現代美術館寄託(CRT財団蔵)
- 19
ルチアーノ・ファブロ
輪
1964/2001年
スチール
154.0×50.0×1.0
作家蔵
- 20
ルチアーノ・ファブロ
接触-トートロジー
1967/2005年
スチール
サイズ可変
- 21
ルチアーノ・ファブロ
床-トートロジー
1967/2005年
新聞紙
サイズ可変
- 22
ルチアーノ・ファブロ
黄金のイタリヤ
1971年
メッキしたブロンズ、スチール線
92.0×45.0
作家蔵

- 23
ルチアーノ・ファブロ
イタリヤの鏡
1971年
鏡、鉛、木
73.0×144.0×11.0、15.0×21.0×1.0、
21.5×11.5×1.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コレ
クション、CRT財団蔵)
- 24
ルチアーノ・ファブロ
衣服かけ
1976-77年
ブロンズ、リネン布
5点組199.0×143.0×45.0、
213.0×114.0×40.0、278.0×118.0×42.0、
175.0×125.0×33.0、180.0×78.0×47.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コレ
クション、CRT財団蔵)
- 25
ヤニス・クネリス
Z-3
1961年
テンペラ、カンヴァス
165.0×134.0
トリノ市近現代美術館(トリノ美術館財団)
- 26
ヤニス・クネリス
無題
1969年
金属ネット、羊毛
40.0×190.0×80.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コレ
クション、CRT財団蔵)
- 27
ヤニス・クネリス
無題
1986年
麻袋、鉛、鉄板
200.0×542.0
豊田市美術館
- 28
マリオ・メルツ
棺
1966年
木、アクリル
286.0×74.0×40.0
ルーベン&サラ・レーヴィ・コレクション

- 29
マリオ・メルツ
何を為すか?
1968年
蝋、ネオン管、金属
容器
17.8×45.0×14.4
トリノ市近現代美術館(グイド&エットレ・
フォルナリス財団)
- 30
マリオ・メルツ
廃棄される新聞、自然、蝸の体のうちに、空間
の力として継起する螺旋がある
1979年
新聞紙、ネオン、ガラス、粘土、布
270.0×1000.0×600.0
豊田市美術館
- 31
マリオ・メルツ
明晰と不分明/不分明と明晰
1988年
鉄、ネオン、ガラス、鉛、枝
280.0×300.0×300.0
豊田市美術館
- 32
マリサ・メルツ
無題
1979年
木、銅線
25.0×40.0×30.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館
- 33
マリサ・メルツ
無題
1997年
パラフィン、鉛、銅
線、水、モーター
9.0×84.0×88.0
作家蔵 カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館
寄託
- 34
ジュリオ・パオリニ
無題
1964年
板、ナイロン糸、カード
199.7×149.5×3.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コレ
クション、CRT財団蔵)
- 35
ジュリオ・パオリニ
1/25
1965年
写真
130.3×95.5
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コ
レクション、CRT財団蔵)

- 36
ジュリオ・パオリニ
ロレンツォ・ロットをみつめる若者
1967年
写真
30.0×24.0
作家蔵
- 37
ジュリオ・パオリニ
ホメロス礼讃
1970-71年
写真、譜面立て、テープ
サイズ可変
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コ
レクション、CRT財団蔵)
- 38
ジュリオ・パオリニ
不定整数 n
1975-88年
インク、紙
29.7×21.0 12点組
作家蔵
- 39
ジュリオ・パオリニ
芸術と空間(マルティン・ハイデッガーの著書へ
の4図解)
1983年
写真
24.0×30.5 4点組
作家蔵
- 40
ジュリオ・パオリニ
もうひとつの像
1984年
石膏
サイズ可変
豊田市美術館
- 41
ピーノ・バスカーリ
ミサイル
1965年
ブリキ
500.0×100.0×100.0
豊田市美術館
- 42
ピーノ・バスカーリ
海
1966年
木、布
25.0×400.0×600.0
大阪市立近代美術館建設準備室
- 43
ピーノ・バスカーリ
キリンの斬首
1966年
木、布
270.0×250.0×250.0
豊田市美術館

44
ジュゼッペ・ペノーネ
マルティム・アルプス
1968年(2004年プリント)
写真
各105.0×70.0 6点組
豊田市美術館

45
ジュゼッペ・ペノーネ
息吹7
1978年
テラコッタ
168.0×72.0×65.0
豊田市美術館

46
ジュゼッペ・ペノーネ
12メートルの木
1982年
木
各600.0×50.0×50.0 (2本)
豊田市美術館

47
ジュゼッペ・ペノーネ
右にねじれた木
1989年
木
800.0×30.0×30.0
豊田市美術館

48
ジュゼッペ・ペノーネ
まぶた
1989-91年
木炭、石膏、布
サイズ可変
豊田市美術館

49
ミケランジェロ・ピストレット
電球
1962-66年
薄葉紙、ステンレス
230.0×120.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コレ
クション、CRT財団蔵)

50
ミケランジェロ・ピストレット
窓視者 (M・ピストレットとV・ピサーニ)
1962,72年
薄葉紙、ステンレス
120.0×230.0
豊田市美術館

51
ミケランジェロ・ピストレット
食事用絵画
1965年
木
200.0×200.0×50.0
ピストレット財団

52
ミケランジェロ・ピストレット
等身大の家
1965-66年
木
220.0×100.0×120.0
ピストレット財団

53
ミケランジェロ・ピストレット
地球儀
1966-68年
新聞紙、鉄
180.0×180.0×180.0
リア・ルンマ・ギャラリー蔵

54
ミケランジェロ・ピストレット
ぼろぎれのヴィーナス
1967年
石膏、ぼろ布
160.0×100.0×200.0
豊田市美術館

55
ミケランジェロ・ピストレット
エトルリア人
1976年
鏡、ブロンズ像
230.0×120.0×120.0
富山県立近代美術館

56
ジルベルト・ゾリオ
いす
1966年
金属パイプ、彩色されたウレタンフォーム、
セメント
215.0×126.0×81.0
東京都現代美術館

57
ジルベルト・ゾリオ
染み
1968年
ゴム、ロープ
120.0×126.0×7.0
カステッロ・ディ・リヴォリ現代美術館・トリノ市
近現代美術館寄託(マルゲリータ・スタイン・コレ
クション、CRT財団蔵)

58
ジルベルト・ゾリオ
憎しみ
1969年
鉛、ロープ
サイズ可変
豊田市美術館

59
ジルベルト・ゾリオ
言葉を純化するために
1969年
銅、鉄、アルコール、ホース
475.0×358.1×182.9
豊田市美術館

豊田市美術館所蔵作品数一覧

分野	種別	国外作家	国内作家	合計
美術	絵画	34	415	449
	水彩・素描	16	113	129
	版画	52	392	444
	彫刻・立体	73	104	177
	写真	61	92	153
	その他	9	10	19
	資料	20	63	83
デザイン		278	0	278
工芸		0	66	66
資料		45	152	197
宮脇晴	絵画・水彩・素描		88	88
宮脇綾子	アプリーケ		192	192
小堀四郎	絵画・水彩・素描		123	123
高橋節郎	漆工芸・墨彩・その他		440	440
合計		588	2,250	2,838

(平成17年3月31日現在)

平成16年度

購入作品

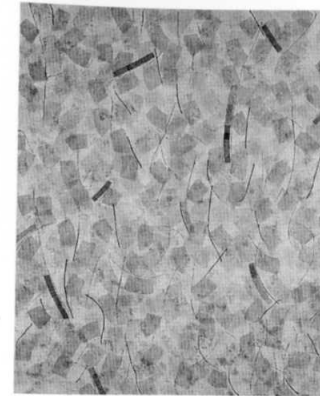
寄贈作品

■購入作品
国内作家

《美術/絵画・平面》



香月 泰男
KAZUKI Yasuo
里芋
1959年
油彩、カンヴァス
41.0×24.3



堀 浩哉
HORI Kosai
池へー81.4
1981年
アクリル、カンヴァス
227.0×182.0



堀 浩哉
HORI Kosai
波-15
1985年
アクリル オイルスティック、岩絵具、カンヴァス
227.0×182.0



前田 青邨
MAEDA Seison
二日月
1946年
墨、膠彩、紙
79.5×109.0



香月 泰男
KAZUKI Yasuo
山茶花
1962年
油彩、カンヴァス
27.5×21.5



香月 泰男
KAZUKI Yasuo
脱衣
1962年
油彩、カンヴァス
33.5×21.3



香月 泰男
KAZUKI Yasuo
鮎
1962年
油彩、カンヴァス
19.5×14.5



森村 泰昌
MORIMURA Yasumasa
肖像 (ゴッホ)
1985年
カラー写真
120.0×100.0



森村 泰昌
MORIMURA Yasumasa
肖像 (カミーユ・ルーラン)
1985年
カラー写真
120.0×100.0

《美術/彫刻・立体》



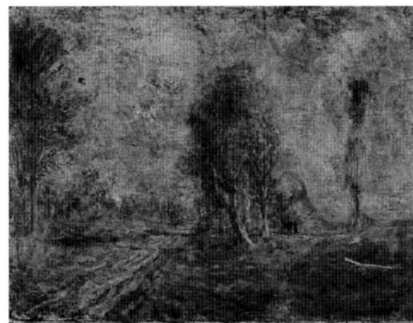
イケムラレイコ
IKEMURA Leiko
ミス・リー
2002-03年
ブロンズ
56.0×47.0×22.0



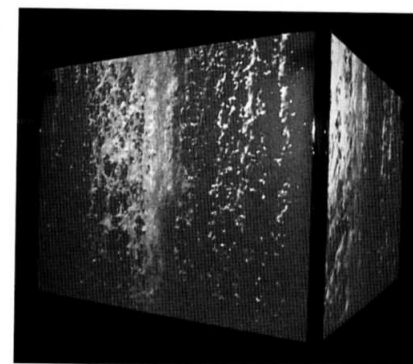
日高 理恵子
HIDAKA Rieko
樹を見上げて I
1989年
岩絵具、紙
220.0×360.0



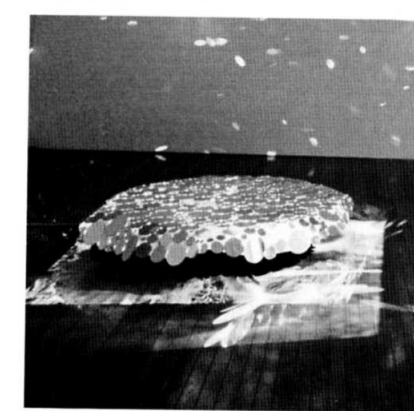
日高 理恵子
HIDAKA Rieko
樹を見上げて II
1989年
岩絵具、紙
220.0×360.0



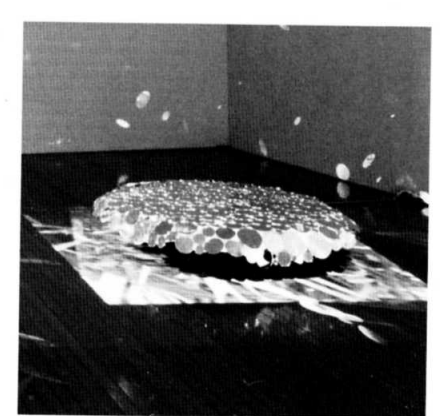
藤田 嗣治
FOUJITA, Tsuguharu Léonard
キャンボシヤ平原
1943年
油彩、カンヴァス
40.8×53.0



小谷 元彦
ODANI Motohiko
9th Room
2001年
ビデオ、スチール・フレーム、鏡、スクリーン
320.0×320.0×320.0



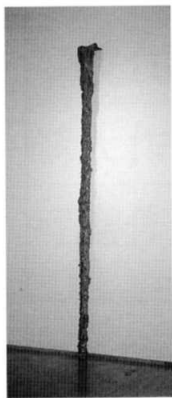
鬼頭 健吾
KITO Kengo
クエーサー 1-b
2004年
ビデオ・インスタレーション
130.0×130.0×21.0



鬼頭 健吾
KITO Kengo
クエーサー 1-c
2004年
ビデオ・インスタレーション
130.0×130.0×21.0

購入作品
寄贈作品

購入作品
寄贈作品



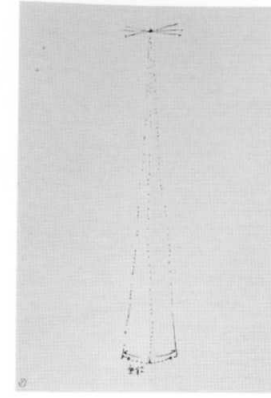
鷺見 和紀郎
SUMI Wakiro
Work M-6 運河
1986年
ブロンズ
560.0×30.0×41.0



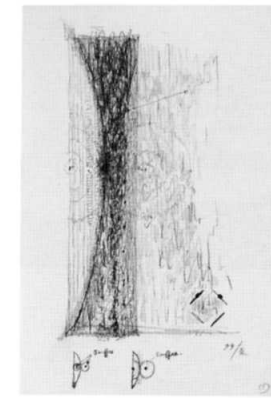
鷺見 和紀郎
SUMI Wakiro
熱の罅
1987年
ブロンズ
195.0×38.0×120.0



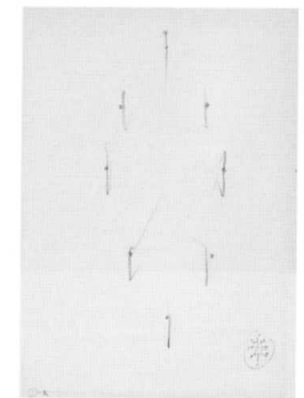
ヤノベケンジ
YANOBE Kenji
サバイバル・システム・トレイン
1992-97年
鉄、モーター、ガラス、食料、他
先頭車：240.0×140.0×215.0、酸素・蒸留水
発生コンテナ：230.0×120.0×200.0、食料コ
ンテナ：200.0×120.0×230.0



中西 夏之
NAKANISHI Natsuyuki
arc・ellipse-F120 (作業手順の略図)
1979-81年
ドローイング
各20.5×14.0(全22枚)

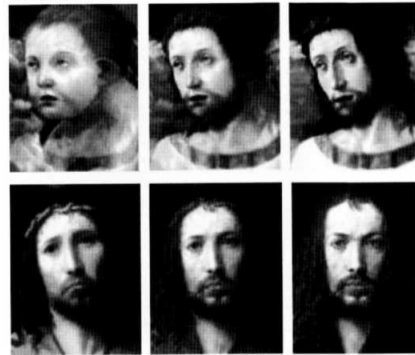


中西 夏之
NAKANISHI Natsuyuki
arcのために
1979-81年
ドローイング
各23.0×16.0(全19枚)



中西 夏之
NAKANISHI Natsuyuki
arc green 7番のために
1979-81年
ドローイング
各33.0×23.5(全80枚)

《美術/映像》

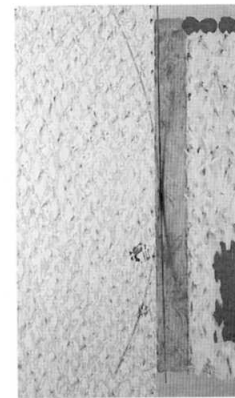


古池 大介
FURUIKE Daisuke
Dissolution
1998年
ビデオ(290分)

《美術/絵画及び水彩・素描》



中西 夏之
NAKANISHI Natsuyuki
arc・ellipse II
1980年
油彩、竹弓、カンヴァス
194.0×130.5



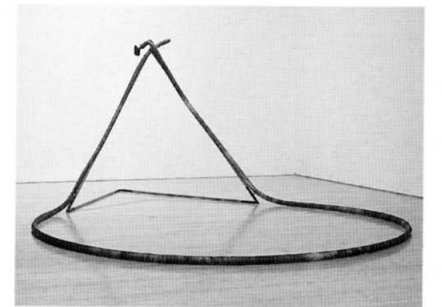
中西 夏之
NAKANISHI Natsuyuki
arc・green-O
1980年
油彩、竹弓、カンヴァス
194.0×112.5

■購入作品
国外作家

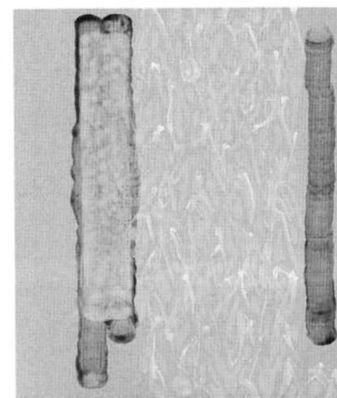
《美術/彫刻・立体》



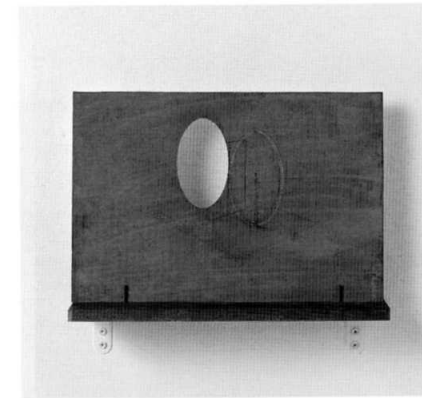
ダニエル・スパーリ
Daniel SPOERRI
レストラン・シティ・ギャラリー
1965年
ミクストメディア
135.0×135.0×34.0



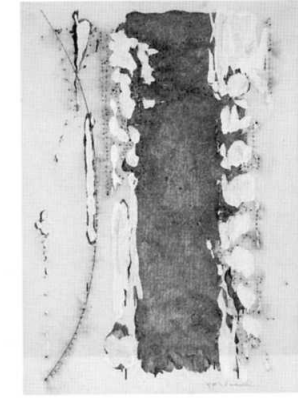
ジルベルト・ゾリオ
Gilberto ZORIO
言葉を純化するために
1969年
銅、鉄、アルコール、ホース
182.9×358.1×475.0



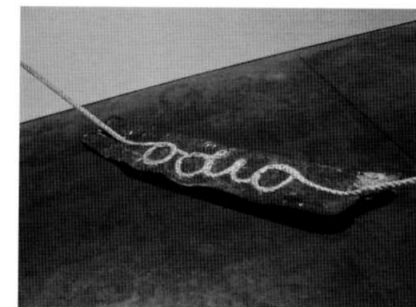
中西 夏之
NAKANISHI Natsuyuki
弓形のための習作
1980年
油彩、カンヴァス
45.5×38.0



中西 夏之
NAKANISHI Natsuyuki
弓形が触れてのためのプラン
1980年頃
木、鏡
24.0×33.8×8.3



中西 夏之
NAKANISHI Natsuyuki
Untitled
1981年
油彩、木炭、カンヴァス
109.0×78.0



ジルベルト・ゾリオ
Gilberto ZORIO
憎しみ
1969年
鉛、ロープ
サイズ可変

《美術/インスタレーション》

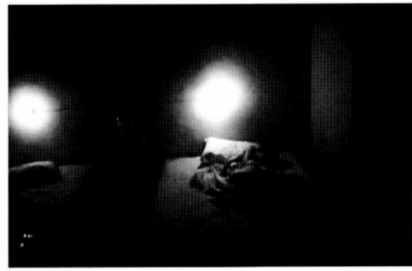


ジョルジュ・アデアグボ
George ADÉAGBO
インザベッド
2004年
ミクストメディア
サイズ可変

《美術/写真》



ナン・ゴールドイン
Nan GOLDIN
セックスをしているスキンヘッド、ロンドン、
1978
1978年
チハクロームプリント
76.2×76.2



ナン・ゴールドイン
Nan GOLDIN
黄色い部屋のスザンヌ、ホテル・セビル、
メリダ、メキシコ、1981
1981年
チバクロームプリント
69.5×101.6



ナン・ゴールドイン
Nan GOLDIN
ホテルの部屋の三つのベッドとブライアン、
メリダ、メキシコ、1982
1982年
チバクロームプリント
69.5×101.626.0×26.0×0.1



ナン・ゴールドイン
Nan GOLDIN
モーターの窓、バレンケ、メキシコ、1982
1982年
チバクロームプリント
101.6×69.5



ナン・ゴールドイン
Nan GOLDIN
スクオアットハウスの血まみれのベッド
ルーム、ベルリン、1984
1984年
チバクロームプリント
69.5×101.6



ナン・ゴールドイン
Nan GOLDIN
日記を書いているセルフ・ポートレート、
ボストン、1989
1989年
チバクロームプリント
69.5×101.6



ナン・ゴールドイン
Nan GOLDIN
テラスのデヴィッド、ホテルポーリヴァージュパ
ラス、ローザンヌ、1998
1998年
チバクロームプリント
69.5×101.6



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
マリタイム・アルプス- その部分を除いて、さ
らに木は成長し続けるだろう
1968年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
105.7×70.7



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
マリタイム・アルプス- 私は三本の樹木を結
び付けた
1968年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
105.0×70.5



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
マリタイム・アルプス- 木は接触を覚えてい
るだろう
1968年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
105.2×70.7



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
マリタイム・アルプス- 成長によって金網を
持ち上げる
1968年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
105.0×70.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
マリタイム・アルプス- 木、針金、鉛
1968年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
105.7×70.7



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
マリタイム・アルプス- 小川の中の私の背丈、
腕の長さ、からだの厚み
1968年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
105.8×70.7



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
石、ロープ、太陽
1968年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
59.8×39.8



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
石、ロープ、雨
1968年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
59.8×39.8



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
皮、ロープ、枝、太陽
1968年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
39.7×59.8



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
皮、ロープ、枝、雨
1968年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
39.8×59.8



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
木と石
1969年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
59.8×39.8



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
木と石
1969年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
59.9×39.8



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
木と石
1969年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
59.9×39.8



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
長方体の枝 (マレーヴィッチへのオマージュ)
1969年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
59.8×39.8



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
影の領域
1969年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
60.2×45.8



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
1967, 1968, 1969
1969年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
39.0×26.1



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
1967, 1968, 1969
1969年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
39.0×26.1



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
1967, 1968, 1969
1969年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
59.9×39.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
書く、読む、記憶する
1969年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
41.7×40.1



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
書く、読む、記憶する
1969年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
41.7×40.1



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
書く、読む、記憶する
1969年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
41.7×40.1



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
木の枝々にもう一枝
1971年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
59.8×39.9



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
木の枝々にもう一枝
1971年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
59.8×39.9



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-1番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.6×49.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
書く、読む、記憶する
1969年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
39.8×39.7



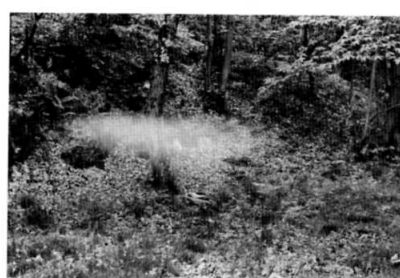
ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
書く、読む、記憶する
1969年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
39.7×39.6



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
1967, 1968, 1969
1969年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
39.0×26.1



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-1番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.6×49.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-1番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.5×49.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-2番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.6×49.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-2番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.5×49.3



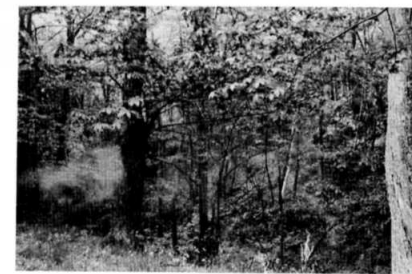
ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-2番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.5×49.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-3番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.5×49.3



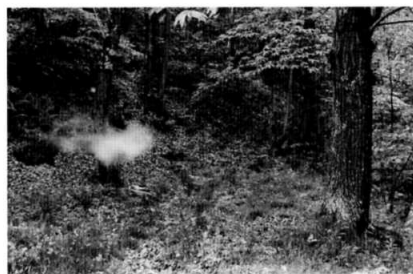
ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-5番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.5×49.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-5番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.5×49.2



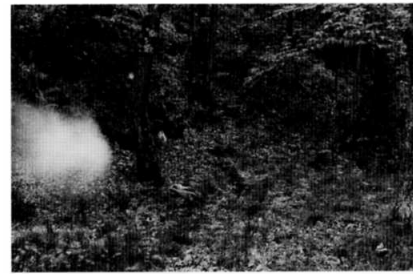
ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-6番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.6×49.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-3番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.5×49.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-3番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.5×49.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-4番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.6×49.2



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-6番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.6×49.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-6番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.6×49.2



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
マリティム・アルプス-その部分を除いて、さ
らに木は成長し続けるだろう
1978年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
58.2×38.9



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-4番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.5×49.3



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-4番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.5×49.2



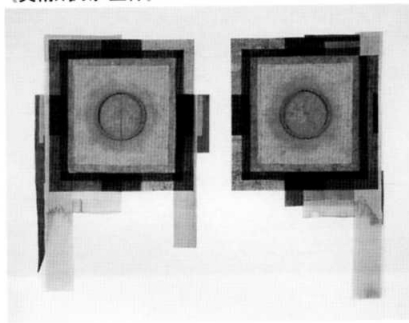
ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
息吹-5番目の
1975年(2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
32.6×49.3

《美術/資料》



SMS
1968年
全6巻

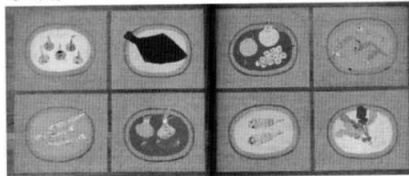
《美術/彫刻・立体》



■寄贈作品
国内作家

井田 照一
IDA Shoichi
Garden Project-Locus Sutra-Descended
Level-Well from Karma No. 28-Two Surplice
1987-88年
ミクストメディア
194.0×255.5×9.0

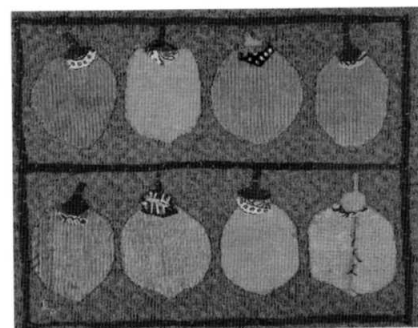
《工芸》



宮脇 綾子
MIYAWAKI Ayako
思い出の布(屏風)
1953年
アプリケ
75.8×177.0



宮脇 綾子
MIYAWAKI Ayako
思い出の布(ちりめん百柿文様衝立)
1969年
アプリケ
90.3×83.3



宮脇 綾子
MIYAWAKI Ayako
柿
制作年不詳
アプリケ
21.2×27.3



宮脇 綾子
MIYAWAKI Ayako
花
制作年不詳
アプリケ
31.5×44.2

平成16年度作品貸出実績

※会期が複数年度にまたがる巡回展は、平成16年度分のみとした。

作家名	作品名	展覧会名(期間) 会場	会期
安田 靉彦	風来山人	平賀源内展 岡崎市美術博物館	平成16年4月3日ー平成16年5月9日
安井 曾太郎	花と少女	昭和前期の洋画 1923ー1945 鳥根県立美術館	平成16年4月23日ー平成16年5月30日
横山 大観 横山 大観	達磨 焚火	近代日本画壇の巨匠 横山大観展 水野美術館 京都国立近代美術館	平成16年5月18日ー平成16年6月20日 平成16年7月2日ー平成16年8月8日
高松 次郎 高松 次郎 高松 次郎 高松 次郎 高松 次郎	赤ん坊の影 No.122 コンクリートの単体 点 紐(黒No.1) 紐(黒) 板の単体(赤)	高松次郎ー思考の宇宙 府中市美術館 北九州市立美術館	平成16年6月26日ー平成16年8月15日 平成16年8月24日ー平成16年10月17日
メダルド・ロッシ	門番女	メダルド・ロッシ トレント・ロヴェレート近代美術館(イタリア) トリノ市立近代美術館(イタリア)	平成16年5月27日ー平成16年8月22日 平成16年9月9日ー平成16年11月28日
クリスチャン・ホルタンスキー	聖遺物箱(プーリムの祭り)	アートの世界へようこそ! 美しき旅ー人生をめぐって 富山県立近代美術館	平成16年7月24日ー平成16年9月5日
安田 靉彦	梅花定窓瓶	近代絵画を築いた日本・欧州10大巨匠展 ホテルオークラ	平成16年8月4日ー平成16年8月31日
小沢 剛	グローブ・ジャングル	小沢剛:同時に答えろYESとNO! 森美術館	平成16年8月24日ー平成16年12月5日
菱田 春草	鹿	院展を築いた4人の巨匠展ー大観 春草 観山 武山ー 富山県水黒美術館	平成16年8月27日ー平成16年9月26日
ルネ・マグリット	無謀な企て	ヨーロッパ幻想の系譜 姫路市立美術館	平成16年9月11日ー平成16年10月24日
藤田 嗣治	美しいスペイン女	藤田嗣治と宮本三郎 小松市立宮本三郎美術館	平成16年10月8日ー平成16年11月21日
草間 彌生 草間 彌生	No. AB. 無題(イス)	草間彌生展 東京国立近代美術館 京都国立近代美術館 広島市現代美術館	平成16年10月26日ー平成16年12月19日 平成17年1月6日ー平成17年2月13日 平成17年2月22日ー平成17年4月17日
トニー・クラッグ	スパイロジャイラ	鏡のお送り返しーマルセル・デュシャンと20世紀美術ー 国立国際美術館 横浜美術館	平成16年11月3日ー平成16年12月19日 平成17年1月5日ー平成17年3月21日
ローマン・オバルカ ローマン・オバルカ 高松 次郎 野村 仁 アルベルト・ブッリ 野田 弘志	オバルカ1965/1.00 デティール 2601104-2626001 オバルカ1965/1.00 デティール 3395602-3411010 コンクリートの単体 Photobook 又は視覚のブラウン運動 26冊 赤 プラスチック	痕跡ー戦後美術における身体と思考 京都国立近代美術館 東京国立近代美術館	平成16年11月9日ー平成16年12月19日 平成17年1月12日ー平成17年2月27日
野田 弘志	TOKUJIKU(非時) VII	退官記念 野田弘志展 広島市立大学芸術資料館	平成16年11月22日ー平成16年11月28日
菱田 春草	春色	春草と松園 唐美人をめぐって 松柏美術館	平成16年12月7日ー平成17年2月6日
イケムラレイコ イケムラレイコ イケムラレイコ イケムラレイコ イケムラレイコ イケムラレイコ イケムラレイコ イケムラレイコ	ドローレス 青の中に立って 黒に浮かぶ 黒の中に横臥して 黒の中 黒に舞う グリアーノの丘の上から ミス・リー	MOTアニュアル2005 愛と孤独、そして笑い 東京都現代美術館	平成17年1月15日ー平成17年3月21日
榎倉 康二	無題 No.1	榎倉康二展 東京都現代美術館	平成17年1月15日ー平成17年3月21日
田中 信行	肉の刃	アルス・ノーヴァ 現代美術と工芸のはざまに 東京都現代美術館	平成17年1月15日ー平成17年3月27日
速水 御舟	菊に猫	自然をめぐる千年の旅ー山水から風景へー 愛知県美術館	平成17年3月11日ー平成17年5月8日
大岩 オスカール 幸男 ソフィ・カル 曾根 裕 曾根 裕 野村 仁 宇野 マサシ	エイジアン・ドラゴン 盲目の人々 バーム・ツリー スノウ・ジャングル 赤道上の太陽 陽の照る町	風景遊歩 丸亀市猪熊弦一郎美術館	平成17年3月13日ー平成17年6月12日
イケムラレイコ	ミコに支えられて横たわる	下町の夫婦展 江戸東京博物館 ストーリーテラズ:アートの紡ぐ物語 森美術館	平成17年3月25日ー平成17年3月31日 平成17年3月29日ー平成17年6月19日

作品貸出実績

購入作品
寄贈作品

[1] 講演会(展覧会関連講演会、美術講演会)、シンポジウム

企画展「高橋節郎」記念講演会

「高橋節郎と近代工芸」
 講師 金子賢治(東京国立近代美術館工芸課長)
 日時 5月1日(土) 午後2時-3時30分
 会場 美術館講堂
 参加人数 50人

企画展「イメージの水位」記念講演会

「イメージの根源、根源のイメージ-鏡像・影・痕跡」
 講師 岡田温司(京都大学大学院人間環境学専攻教授)
 日時 7月24日(土) 午後2時-3時30分
 会場 美術館講堂
 参加人数 63人

川俣正と参加者による「ワーク・イン・プログレス豊田2004」報告会

講師 川俣正(作家)、プロジェクト参加者
 日時 8月21日(土) 午後2時-4時
 会場 美術館講堂
 参加人数 45人

企画展「イン・ベッド」記念講演会

「枕の中の声-夜の身体と詩を書くことについて-」
 講師 多和田葉子(小説家)
 日時 10月10日(日) 午後2時-3時30分
 会場 美術館講堂
 参加人数 46人

テーマ展 生誕百年「黒田辰秋-開いて観察」記念講演会

「黒田辰秋の棚」
 講師 早川謙之輔
 日時 10月24日(日) 午後2時-3時30分
 会場 美術館講堂
 参加人数 38人

企画展「イン・ベッド」関連イベント

「トーク・イン・ベッド」
 講師 周川ひとみ(舞踏家)×佐倉密(詩人)
 日時 11月3日(水・祝) 午後3時15分-4時
 会場 美術館講堂
 参加人数 75人

企画展「河原温」記念講演会

「河原温 日曜画家」
 講師 ジョナサン・ワトキズ(アイコン・ギャラリー館長)
 日時 1月9日(日) 午後2時-3時30分
 会場 美術館講堂
 参加人数 153人

企画展「アルテ・ポーヴェラ/貧しい芸術」記念講演会

「アーティスト・トーク」
 講師 ジルベルト・プリオ(出品作家)
 日時 3月19日(土) 午後2時-3時30分
 会場 美術館講堂
 参加人数 35人

[2] 講座、作品解説会、ギャラリートーク、ワークショップ

①学芸員による作品解説会、ギャラリートーク

・テーマ展「井田照一」作品解説会
 日時 4月17日(土) 午後3時30分-
 会場 テーマ展「井田照一」会場
 参加人数 15人

・企画展「高橋節郎」作品解説

日時 ①4月18日(日)、②5月15日(土)、③5月30日(日)、
 ④6月10日(土) 午後3時-4時
 会場 企画展「高橋節郎」会場
 参加人数 ①10人 ②5人 ③15人 ④25人

・企画展「宮脇綾子」ギャラリートーク

日時 ①5月6日(木)、②5月20日(木)、③6月3日(木)、
 ④6月17日(木) 午後3時-4時
 会場 企画展「宮脇綾子」会場
 参加人数 ①5人 ②10人 ③2人 ④2人

・企画展「イメージの水位」スポット・トーク

展示中の作品から気になる1点を学芸員がセレクト。その魅力を語る。
 日時 展覧会会期中の毎週土曜日 午後1時30分-1時45分(全9回)
 会場 企画展「イメージの水位」会場
 延べ参加人数 180人

・企画展「イメージの水位」スライド&トーク

日時 ①7月17日(土)、②8月7日(土)、③8月14日(土)
 午後3時-4時
 会場 美術館講堂
 参加人数 ①14人 ②22人 ③15人

・企画展「イン・ベッド」ギャラリートーク

日時 展覧会会期中の第2、第4土曜日 午後2時-
 会場 企画展「イン・ベッド」会場
 延べ参加人数 149人

・企画展「河原温」カップリング・トーク

日時 展覧会会期中の毎週土曜日 午後2時30分-
 会場 企画展「河原温」会場
 延べ参加人数 69人

②夏休み美術館キッズ・ツアー

「たんけん!とよたしびじゅつかん」
 内容 美術館スタッフの案内で、常設展を鑑賞した後、巨大エレベーターなど普段見られない美術館の舞台裏を探索する。
 開催日 ①7月24日(土) ②8月7日(土) ③8月21日(土)
 時間 午前10時30分-午後12時
 講師 当館学芸員、作品ガイドボランティア
 対象 小学生とその親
 定員 各回20名程度(申し込み制)
 参加費 無料
 参加人数 ①21名 ②20名 ③16名

③ワークショップ

・テーマ展「井田照一」ワークショップ

「ペーパードラムを作って、叩こう」
 内容 ペーパードラムによる井田の多彩な活動を紹介しつつ、紙という素材のみできあがるペーパードラムの不思議な魅力を発見してもらうことを目的とした。1日目(3月28日)は井田スタジオから借用した巨大な紙筒に紙を張り、ペーパードラムを作った。2日目(4月4日)はプロのパーカーシュニストの指導のもとでペーパードラムを叩いて音を出したり、聴いたりすることを楽しんだ。「ペーパードラムを聴こう、叩こう」4月4日(日) 午後2時-3時30分
 開催日 YAS-KAZ(パーカーシュニスト)
 講師 小学生以上
 対象 30名程度(申し込み制)
 定員 300円
 参加費 56名
 参加人数

・夏休み子どものワークショップ

「アート・イン・Tシャツ・プロジェクト」
 内容 アーティスト宮島達男が提唱する、アート(美)の存在そのものを問う概念「ART IN YOU」を、観客参加型のワークショップ形式で展開するプロジェクト。参加者それぞれが、9つの数字を創り、その数字を宮島作品独特のデジタル・フォント(字体)をつかって、好きな色でTシャツにプリントしていく。世界で1枚だけの「宮島Tシャツ」が完成したら、着用してひとりひとり記念撮影。その記録写真は美術館で展示した。
 開催日 7月31日(土)
 時間 午後1時-5時30分
 講師 長澤章生(服飾デザイナー)
 対象 小学生以上
 定員 30名程度
 参加費 1,000円(Tシャツ代、材料費)
 参加人数 34人
 撮影 若木信吾(写真家)
 「アート・イン・Tシャツ プロジェクト」写真展示
 8月17日(火)-8月31日(火)

・川俣正ワーク・イン・プログレス豊田2004

—物見台制作プロジェクト
 内容 豊田市美術館では、1999年より川俣正のプロジェクト、「ワーク・イン・プログレス豊田」を開催している。二度目の現場制作となる今年は、物見台を制作した。
 作業日程 8月3日(火)-8月24日(火) 8/9、8/16をのぞく
 午前10時-午後5時
 場所 美術館駐車場
 作業内容 物見台の制作
 参加人数 計91名

[3] コンサート、映画上映会、パフォーマンス

①映画上映会

企画展「イメージの水位」関連映画上映会

・タルコフスキー「鏡」(1975年 ソ連)
 上映日時 ①7月11日(日)、②7月25日(日) 午後3時-
 会場 美術館講堂
 参加人数 ①35人 ②38人

・ジャン・コクトー「オルフェ」(1950年 フランス)

上映日時 ①8月22日(日)、②8月29日(日) 午後3時-
 会場 美術館講堂
 参加人数 ①47人 ②52人

常設展関連映画上映会

「≡ 会田誠 ~無気力大陸~」
 上映日時 ①8月8日(日)、②8月15日(日) 午後3時-4時40分
 会場 美術館講堂
 参加人数 ①65人 ②55人

②パフォーマンス

テーマ展「井田照一」関連イベント

・今貂子十倚羅座舞踏パフォーマンス
 日時 4月3日(土) 午後2時-
 会場 展示室1-3、2階ギャラリー
 参加人数 95人

企画展「イン・ベッド」関連イベント

・周川ひとみ舞踏パフォーマンス
 舞踏 周川ひとみ(舞踏家)
 テーマ 「エロスと死」
 上映日時 11月3日(水・祝) 午後2時-3時
 会場 イン・ベッド展示会場
 参加人数 200人

[4] 作品ガイド・ボランティア

美術館の教育・普及活動を支援、活性化していくことを目的に平成9年より活動を開始。
平成16年4月現在、25名が登録。

① ギャラリー・ツアー

内 容 企画展、常設展のギャラリー・ツアー

定時	活動日数	245
	参加者数	409
団体	件数	45
	参加者数	1,505
参加者数合計		2,011

- ・定 時 毎日(木曜日を除く) 午後2時～
- ・団 体 団体からの事前予約によるツアー(小・中学校美術館学習は団体に含まれない)

② 小・中学校美術館学習関連活動

・美術館学習のための事前出張授業

内 容 作品ガイドボランティアが小学校を訪問し、美術館学習のための事前出張授業を実施。
対象は小学校4年生

訪問校	児童数(クラス数)	開催日
若園小学校	138 (4)	4月30日
大林小学校	165 (5)	5月10日
衣ヶ丘小学校	87 (3)	5月11日
山之手小学校	98 (3)	5月27日
青木小学校	107 (3)	5月31日
五ヶ丘小学校	41 (2)	6月1日
駒場小学校	61 (2)	6月8日
美山小学校	129 (4)	6月15日
野見小学校	72 (2)	6月16日
童子山小学校	90 (3)	6月17日
西保見小学校	51 (2)	6月24日
平井小学校	56 (2)	6月25日
東広瀬小学校	22 (1)	10月1日
合計 13校	1,117 (36)	

・美術館学習ギャラリートーク
「美術館学習」の機会を利用して来館する全ての小学生を対象に、クラス単位でギャラリートークを実施

③ 特別活動

・友の会会員のためのギャラリー・ツアー、美術講座

開 催 日 4月21日、7月7日、7月18日、10月6日、2月21日、2月23日、
2月26日、2月28日

延べ参加人数 56人

・企画展「イメージの水位」 ビフォーアフター・スポット・トーク

日 時 展覧会会期中の毎週土曜日 午後1時～

会 場 企画展「イメージの水位」会場

延べ参加人数 88人

・企画展「河原温」 カップリング・トーク

ガイドボランティアによる対話型ギャラリー・トークと学芸員による作品解説を組み合わせた「カップリング・トーク」を実施

日 時 展覧会会期中の毎週土曜日 午後2時30分～

会 場 企画展「河原温」会場

延べ参加人数 69人

[5] 出版、ビデオ制作

① 出版、印刷物

企画展、テーマ展、常設展に関する出版/印刷物は、各展覧会の掲載ページを参照のこと。

『展覧会のご案内 2004-2005』

『年報(平成15年度版)』

『配布用ギャラリーガイド』

『2004年夏の教育プログラム』

② ビデオ制作

・平成16年度自主企画展の記録ビデオ

「イメージの水位」展 DVD 15分

「イン・ベッド」展 DVD 15分

「河原温」展 DVD 15分

[6] 小・中学校美術館学習

市内すべての小学4年生(52校)、中学3年生(20校)を対象に実施。
平成16年度は5月～11月に来館し、合計7,228人の児童、生徒が常設、企画展を観覧した。

・学習の基本的な流れ

① 講堂へ入場

② 館職員による概要説明、館紹介ビデオ視聴

③ クラス単位で常設展、企画展を観覧

④ 講堂へ再入場、点呼後、退場

[7] 博物館実習

・実習生 12人(7大学)

・実習期間 平成16年8月5日(木)～8月9日(月) 計5日間

・カリキュラム

	実習内容
1日目	オリエンテーション、館内見学
	美術館の機能 作品収集の意義
2日目	展示活動について 作品管理、保存、修復 展示の取り扱い
	ワークショップに参加
3日目	ワークショップに参加 ワークショップに参加
	美術館の施設管理
4日目	教育普及活動について ボランティアによるギャラリートーク体験
	展覧会の企画から実施まで
5日目	企画展関連事業の準備
	企画展関連事業に参加

利用実績

[1] 観覧者数

① 月別観覧者数

(人)

年 月	企 画 展			常 設 展 の み				
	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均		
16	4	16	2,253	141	26	1,043	40	
	5	27	10,492	389	27	502	19	
	6	18	11,934	663	26	1,382	53	
	7	24	3,240	135	28	676	24	
	8	26	4,673	180	26	449	17	
	9	5	1,620	324	27	1,427	53	
	10	25	3,855	154	28	811	29	
	11	25	3,822	153	25	740	30	
	12	23	4,039	176	23	198	9	
	17	1	21	1,934	92	21	794	38
		2	24	2,773	116	24	610	25
		3	12	1,364	114	12	343	29
合 計	246	51,999	211	293	8,975	31		

② 年度別観覧者数

(人)

年 度	企 画 展			常 設 展 の み			合 計		
	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均
7年度	57	50,600	888	119	20,881	175	119	71,481	601
8年度	148	59,858	404	311	36,444	117	311	96,302	310
9年度	235	35,479	151	302	29,686	98	302	65,165	216
10年度	191	33,476	175	302	23,655	78	302	57,131	189
11年度	181	31,499	174	307	36,754	120	307	68,253	222
12年度	162	26,614	164	301	21,538	72	301	48,152	160
13年度	140	44,633	319	303	13,700	45	303	58,333	193
14年度	167	22,271	133	303	23,478	77	303	45,749	151
15年度	153	44,829	293	304	20,992	69	304	65,821	217
16年度	211	51,999	246	293	8,975	31	293	60,974	208
合 計	1,645	401,258	244	2,845	236,103	83	2,845	637,361	224

※平成7年11月11日開館
 ※平成8年7月23日(218日目)来館者10万人達成
 ※平成9年11月9日(621日目)来館者20万人達成
 ※平成11年5月14日(1,073日目)来館者30万人達成
 ※平成13年1月21日(1,582日目)来館者40万人達成
 ※平成15年1月12日(2,180日目)来館者50万人達成
 ※平成16年6月17日(2,620日目)来館者60万人達成

③ 観覧者・ギャラリー等入場者累計

年 度	日数(日)	観覧者数(人)	日数(日)	ギャラリー入場者数(人)	合 計(人)
7年度	119	71,481	—	—	71,481
8年度	311	96,302	84	23,581	119,883
9年度	302	65,165	124	18,089	83,254
10年度	302	57,131	130	22,696	79,827
11年度	307	68,253	195	23,269	91,522
12年度	301	48,152	238	28,253	76,405
13年度	303	58,333	233	29,215	87,548
14年度	303	45,749	197	29,181	74,930
15年度	304	65,821	213	31,502	97,323
16年度	293	60,974	137	15,669	76,643
合 計	2,845	637,361	1,551	221,455	858,816

④ 企画展観覧者数

開 催 期 間	展 覧 会 名	開催日数(日)	観覧者数(人)	1日平均(人)
平成16年4月13日～6月20日	卒寿記念 高橋節郎 漆絵から鎗金へ	61	11,797	193
16年4月27日～6月20日	宮脇綾子 アプリケの世界	49	12,882	263
16年7月6日～9月5日	イメージの水位	55	9,533	173
16年10月5日～12月26日	IN BED 生命の美術	73	11,716	160
平成17年1月8日～2月27日	河 原 温	45	4,707	105
17年3月19日～6月12日	アルテ・ポーヴェラ/貧しい芸術	74	9,548	129

[2] ギャラリー利用状況

開催期間	開催日数	展覧会名	人数(人)
平成16年 4月8日～4月11日	4	第三回日中友好写真展	672
4月27日～5月2日	6	三河水墨画展	524
5月4日～5月9日	6	D5-彫刻展-	447
5月11日～5月16日	4	矢作川水源の森デザインコンテスト	882
5月18日～5月23日	6	deja vu	372
5月25日～5月30日	6	ラ・ヴァレー豊田展	540
6月8日～6月13日	6	K-TEN11	1,837
8月17日～8月22日	6	太田元弘展	310
8月24日～8月29日	6	愛と平和のファンタジー展	691
8月31日～9月5日	6	第22回グループでないグループ	530
9月7日～9月19日	12	鈴木康雄展	362
9月21日～9月26日	6	豊田女流展	946
9月28日～10月3日	6	農翔会	569
10月5日～10月16日	12	第28回国画会彫刻部秋季巡回展	1,080
10月23日～10月24日	2	第24回とよた子ども造形フェスティバル	883
10月30日～11月7日	8	豊田市民美術展	1,377
11月9日～11月14日	6	大津定信展	450
11月16日～11月21日	6	TRANSIT 2004 UNFOLDED(隅やぐら)	279
11月16日～11月21日	6	TRANSIT 2004 UNFOLDED(ギャラリー)	449
11月23日～11月28日	6	とよたアートナウ2004 写真の時代「いま写すとは」	1,429
12月8日～12月19日	11	第7回豊田市障害者作品展	1,040
合 計	137	合計	15,669

[3] 図書閲覧室

年 月	利用人数
平成16年4月	232人
5月	355人
6月	224人
7月	247人
8月	399人
9月	343人
10月	248人
11月	304人
12月	270人
平成17年1月	283人
2月	351人
3月	114人
合 計	3,370人
1日平均	12人

評価実績

[1] 評価実施計画

- ①美術館評価の意義
美術館の使命(存在価値)を多角的に明らかにする。
- ②美術館評価制度の目的
使命の達成度を確認し、持続的な経営改善に生かす。
- ③評価の手法
使命の達成度をできる限り数値化して自己評価し、数値化に適さない分野または補完が必要な内容については*専門家による定性的評価と来館者評価を行う。
- ④評価の運用
評価制度は、美術館活動の改善、発展及び社会的認知のための「手段」としてとらえ、よりよい評価に向けて柔軟に運用する。

*定性的評価と来館者評価：平成17年度に試行。

[2] 定量評価のための自己点検表

美術館活動の基盤となる指標(55項目)・現状値・目標値(平成16-20年度の5ヵ年)

部門	方針	評価指標
1 収集・保存	収集方針に基づく質の高い作品を継続的に収集することによって、価値の高いコレクションを形成し、将来の世代へ継承する。	① 収集作品が教科書等の教育刊行物に掲載された累計点数
		② 収集作品に関する記事や写真の掲載件数(新聞・雑誌・専門書等)
		③ 収集作品の他館への貸出し件数
		④ 収蔵庫環境の良好さ(生物調査と適正温湿度の維持)
		⑤ 展示室環境の良好さ(生物調査と適正温湿度の維持)
		⑥ 作品修復の件数
2 調査・研究	美術作品及び美術文化に関する調査研究を行い、新たな価値を見出し、社会的知的活動に貢献するとともに、美術及び美術館活動の社会的価値を高める。	① 自主企画の刊行物(図録、紀要、報告書等)の編集発行件数
		② 自主企画の刊行物(図録、紀要、報告書等)への論文等執筆件数
		③ 自主企画の講演会、講座、シンポジウム等での発表件数
		④ 美術館業務に関する研究内容(内務資料)の執筆件数
		⑤ 自主企画以外の刊行物、新聞等への論文執筆寄稿件数
		⑥ 講義、講演会、講座等の講師派遣件数(調査研究に基づく内容)
3 展 示	明確なテーマにより、心に問いを与え、知的好奇心を刺激する展覧会を開催する。	① 観覧者アンケート満足度(満足+ほぼ満足)の割合
		② 展示から感動や刺激といったインパクトを受けた観覧者の割合
		③ 観覧体験を他者に伝え来館を勧めたいと感じた観覧者の割合
		④ 専門誌や新聞で評論として取り上げられた件数
		⑤ 展覧会観覧者総数
		⑥ 収集作品の新規展示点数
4 教 育	収集作品と展覧会の個性を生かした様々な教育プログラムを提供し、来館者が美術の意義や楽しさを見出せるよう支援する。	① 講座等の参加者の満足度
		② 参加体験を他者に伝え受講を勧めたい参加者の割合
		③ 職員の社会教育1施設への講師等派遣件数
		④ 講演会、講座、ワークショップ等の教育活動開催数と参加者総数
		⑤ 作品ガイドボランティアのガイド実績(日数・件数・人数)
		⑥ 学芸員の作品解説実績(件数・人数)
		⑦ 鑑賞及び美術館活動の手引書及びチラシの発行件数
		⑧ 図書室、講堂での図書・映像利用者数
		⑨ 図書・映像資料へのアクセス可能点数(整理状況)

⑤ 評価制度の流れ



(注)：*は目標設定に不適当な指標

評価指標	平成16年度	平成17年度	平成20年度	調査方法		
	現状値	目標値	目標値	利用者調査	非利用者調査	業務管理調査
累計9点		*	累計10点		○	
92件		*	*			○
69件		*	*			○
良好		良好	良好			○
良好		良好	良好			○
80件		*	*			○
4件		4件	累計20件			○
4件		4件	累計30件			○
22件		10件	累計5件			○
1件		1件	累計5件			○
10件		*	*		○	
6件		*	*			○
70.90%		75%	平均75%	○		
83.60%		80%	平均80%	○		
73.50%		75%	平均75%	○		
14件		*	*		○	
60,974人		66,000人	累計33万人			○
42点		30点	*			○
85.00%		75%	平均75%	○		
未実施		75%	平均75%	○		
3件		*	*			○
27件、75日、2,522人		20件、2,000人	累計80件、1万人			○
定時246日409人、団体45件1,505人		*	*		○	
7件、30回、529人		5件、15回	累計30件			○
9件		6件	累計40件			○
図書室3,388人		図書室4,000人	累計2万人			○
図書12,813 映像174		図書13,000	累計2.5万件			○

部門	方針	評価指標
5 普及・広報	人々が求める情報を多様なメディアを活用して公開・提供し、美術館運営全般に関する理解活動を進める。	① 新聞雑誌で展覧会以外の美術館活動が記事として掲載された件数
		② 新聞、雑誌、テレビ等への情報提供件数
		③ 新聞、雑誌（情報紙を除く）、テレビ等に報道掲載された件数
		④ ホームページへのアクセス件数
		⑤ 年報等への評価内容の公開
		⑥ 文書やメールに対する回答件数（モニター、業務用を除く）
6 社会との連携	市民意識の把握と対話に努め、地域社会の支持を基盤とした美術館運営を進め、文化的・経済的波及効果を生み出す。	① 美術館モニターの参加満足度
		② 友の会会員の満足度
		③ 美術館運営協議会の開催状況
		④ モニター意見や市民からの提案の実現件数
		⑤ 美術館（介助）ボランティアの活動人数、回数
		⑥ 美術館友の会の会員数と友の会事業参加者数
		⑦ 美術館活動に対する市民団体や企業、商店街、自治区等の参画
		⑧ 博物館実習の受け入れ実施（人数・プログラム日数）
7 施設の整備・運営管理	来館者に最良の鑑賞空間と安全で快適なサービスを提供する。	① 展示作品の見やすさに対する満足度（配置・空間・鑑賞距離）
		② 施設の雰囲気・美観に対する満足度
		③ 施設へのアクセス（交通の便）に対する満足度
		④ 窓口案内職員の対応に対する満足度
		⑤ 観覧料金の設定等に対する満足度
		⑥ 施設の運営管理全般に対する苦情処理件数
		⑦ 美術館施設利用者総数（展覧会・ギャラリー・図書室・講堂・童子苑・七州城隈櫓・又日亭・レストラン・ショップ） ※述べ人数
8 組織運営	職員の意識改革を進め、目的志向、成果志向、市民志向による運営を行い、徹底したコスト意識により最大の費用対効果を生む。	① 年間重点目標の達成度
		② 全体収支比率：歳入決算額／（歳出決算額－作品収集費－用地費等臨時経費）
		③ 展覧会収支：（観覧料＋図録売上＋協賛金）／展覧会費決算額
		④ 利用者一人当たり経費：（歳出決算額－作品収集費－用地等臨時経費）／施設利用者数
		⑤ 観覧者一人当たり経費：展覧会決算額／観覧者数
		⑥ アメニティ施設収支：売上額・使用料収入／委託料・運営経費
		⑦ 美術館運営に関する視察件数

平成16年度	平成17年度	平成20年度	調査方法		
現状値	目標値	目標値	利用者調査	非利用者調査	業務管理調査
8件	*	*		○	
報道発表13件＋中部芸能記者クラブ6回	20件	累計100件		○	
92件（新聞58雑誌27専門誌11TV6）	*	*		○	
170,115	20万件	累計100万件		○	
実施	実施	毎年実施			○
37件	*	*		○	
未実施	80%	平均75%	○		
未実施	70%	平均70%	○		
会議3回＋視察1回	会議3回＋視察1回	会議3回＋視察1回			○
6件	18件（継続＋新規）	累計30件			○
20人、181回	*	*		○	
326人、105人（ツアー28人 特別鑑賞会等77人）	400人	500人			○
協賛605万円相当、勤労者団体との提携	*	*		○	
実施（16人、5日）	実施（12人、5日）	累計60人、25日			
75.80%	75%	平均75%	○		
84.90%	80%	平均80%	○		
58.00%	65%	平均70%	○		
77.40%	80%	平均75%	○		
60.00%	70%	平均70%	○		
13件	50件以下	平均年間50件以下		○	
140,218人 ※ 108,939人（レストラン・ショップ除く）	15万人	累計80万人			○
来館者92.4% 教育事業参加者125%	来館者6.6万人	*			○
10%	10%	平均12%			○
21%	30%	平均35%		○	
3,207円	3,000円	平均2,900円		○	
2,021円	1,700円	平均1,650円		○	
61.00%	50%	平均55%		○	
3件	*	*			○

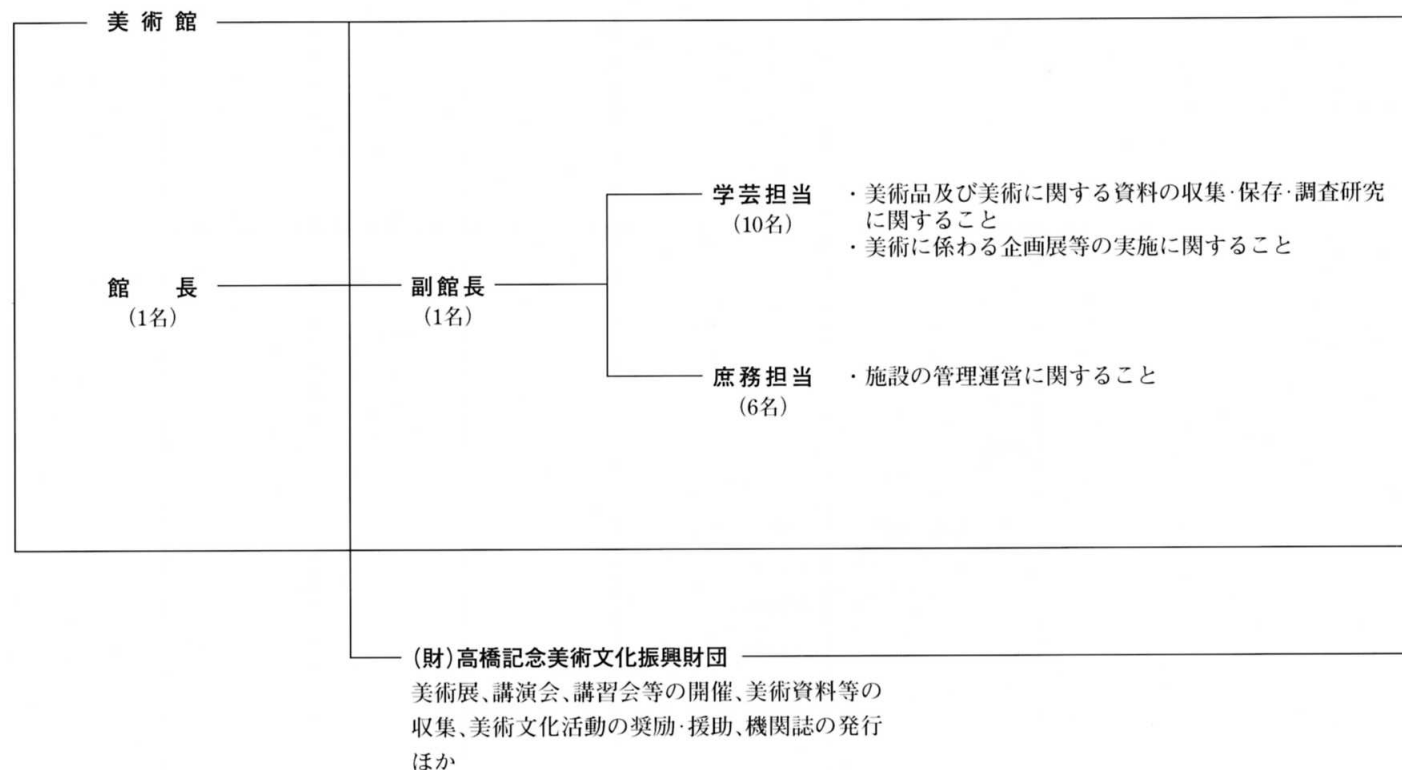
[3] 豊田市教育行政計画における数値目標(参考)

3-2 「鑑賞機会及び情報提供サービスの充実」(市民 3,200人、中学2年生 1,200人抽出調査)

- ① 美術館に興味のある市民の割合 H13年度 (44.5%) ⇒ H17年度 (49.0%) ⇒ H24年度 (58.0%)
- ② 美術館に興味のある中学生の割合 H13年度 (23.1%) ⇒ H17年度 (25.0%) ⇒ H24年度 (30.0%)
- ③ 美術館に満足している人の割合 H13年度 (19.7%) ⇒ H17年度 (22.0%) ⇒ H24年度 (26.0%)
- ④ 美術館の入館者数 H13年度 (58,333人) ⇒ H17年度 (60,000人) ⇒ H24年度 (70,000人)
- ⑤ 市民の芸術・文化鑑賞回数 H13年度 (2.8回/年) ⇒ H17年度 (3.0回/年) ⇒ H24年度 (4.0回/年)

組織

[1] 組織図 ※平成16年4月1日現在



※美術館の分掌事務

- ・豊田市美術館の管理運営に関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の収集に関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の保管及び取扱いに関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の展示に関すること
- ・美術に係る展覧会等の事業の実施に関すること
- ・美術に係る調査研究に関すること
- ・美術の啓発に関すること

※(財)高橋記念美術文化振興財団は、事務局を豊田市美術館内に置き、美術館職員がその事務事業の一部を補佐する。

[2] 美術品収集委員会

今年度は、前田青邨<二日月>をはじめ34件の美術品購入と5件の寄贈受け入れについての審査及び評価がされ、すべての案件が可決されました。

- ① 委員 5名
- ② 開催日 平成16年11月28日(日)

[3] 美術館運営協議会

より多くの感動を与え、親しまれる美術館運営を目指して、運営協議会を設置し、展覧会の開催、美術文化の普及、来館者サービスの現状と課題について協議しました。

- ① 委員 10名
- ② 開催日 平成16年 7月27日(火)
10月19日(火)
11月30日(火)
平成17年 2月22日(火)

[4] 美術館モニター

美術館の運営・管理について広く市民の意見を把握し、美術館を市民に親しまれ、利用しやすい施設とするためご意見をいただきました。

- ① 発 足 平成14年 3月(任期2年)
- ② 人 数 18人
- ③ 会議日 平成16年 4月20日(火)
7月10日(土)
12月 4日(土)
平成17年 3月19日(土)

[5] 美術館ボランティア

来館者の介助及び館内案内の他、新聞記事や図書の整理、アンケートの集計などを行いました。

- ① 発 足 平成7年11月
- ② 登録人数 24人 ※平成16年4月1日現在
- ③ 活動内容 ・高齢者、障害者等の介助及び誘導
・館内の案内(作品解説は除く。)
・庶務業務の補助 など

[6] 作品ガイドボランティア

毎日(木曜日を除く。)午後2時から来館者と対話しながら作品の魅力を紹介し、鑑賞のガイドをするギャラリートークの他、美術館学習での小・中学生やガイドを希望する団体等への対応をしました。

- ① 発 足 平成9年7月
- ② 登録人数 25人 ※平成16年4月1日現在
- ③ 活動内容 ・常設展・企画展でのギャラリーツアー
・美術館学習のための事前出張授業
・団体来館者への作品解説 など

関係法規

豊田市美術館条例

(趣旨)
第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、豊田市美術館の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置)
第2条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、豊田市美術館(以下「美術館」という。)を豊田市小坂本町8丁目5番地1に設置する。

(事業)
第3条 美術館においては、次に掲げる事業を行う。
(1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
(2) 美術に関する専門的な調査研究を行うこと。
(3) 美術に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
(4) 美術に関する講演会、講習会等を開催すること。
(5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するため、教育委員会が必要と認めた事業

(観覧料)
第4条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、中学生以下の者は、無料とする。

(利用の許可)
第5条 別表第2に掲げる施設(以下「施設」という。)を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
2 学術研究等のため、美術品等の撮影、模写、模造、熟覧等(以下「美術品等の利用」という。)をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
3 教育委員会は、美術館の管理上必要があると認めるときは、前2項の許可に条件を付することができる。

(利用の不許可)
第6条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設の利用及び美術品等の利用を許可しない。
(1) 利用目的に違反すると認めるとき。
(2) 商業宣伝、営業等の行為が主たる目的であると認めるとき。
(3) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
(4) その他管理上支障があると認めるとき。

(許可の取消し等)
第7条 教育委員会は、第5条第1項又は第2項の規定により許可を受けた者(以下「利用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、又は公益上特に必要があると認めるときは、許可を取り消し、利用の中止若しくは停止を命じ、又は許可に付された条件を変更することができる。
(1) この条例又はこれに基づく教育委員会規則の規定に違反したとき。
(2) 許可に付された条件に違反したとき。
(3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
1 前項の規定による許可の取消し等によって利用者に損害が生じた場合においても、市は、その責めを負わないものとする。

(使用料)
第8条 利用者(第5条第1項の規定により許可を受けた者に限る。)は、許可を受けたときにおいて、別表第2に定める使用料を納付しなければならない。

(観覧料等の減免)
第9条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

(観覧料等の不還付)
第10条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、市長において特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(権利の譲渡等の禁止)
第11条 利用者は、その利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(設備の承認及び原状回復)
第12条 利用者は、その利用に際して特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。
2 利用者は、前項の規定により特別の設備をしたときは、利用後速やかに原状に回復しなければならない。
3 利用者が前項の義務を履行しないときは、市がこれを代行し、その費用を利用者から徴取することができる。

(入館の制限)
第13条 教育委員会は、美術館内の秩序を乱し、又は乱すおそれがあると認められた者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

(損害賠償)
第14条 美術館の入館者及び利用者は、故意又は過失により建物、附属設備又は物品を破損し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長が損害を賠償させることが適当でないと認めるときは、この限りでない。

(委任)
第15条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則 (施行期日)
1 この条例は、平成7年11月11日(以下「施行日」という。)から施行する。

(準備行為)
2 この条例の規定に基づく利用許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

附 則 (平成15年3月28日条例第10号)
この条例は、平成15年4月1日から施行する。

別表第1(第4条関係)
豊田市美術館観覧料

区 分	単 位	観 覧 料 (円)		
		個 人	20人以上の団体	
常設展示	一 般	1人1回	300	250
	大学生又は高校生	1人1回	200	150
常 設 特 別 展 示	1人1回	2,000円以内で市長がその都度定める額		
企 画 展 示	1人1回			

備考 「大学生又は高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校若しくは専修学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。

別表第2(第5条、第8条関係)
豊田市美術館使用料

1 ギャラリー使用料

区 分	利用目的	単 位	使 用 料 (円)
ギ ャ ラ リ ー	美術に関する展覧会等の開催	1 日	12,000

2 茶室使用料

区 分	利用目的	使 用 料 (円)		
		午 前 (9:00~13:00)	午 後 (13:00~17:00)	夜 間 (17:00~21:00)
茶 室	茶会の開催	5,000	5,000	5,000

豊田市美術館管理規則

(趣旨)
第1条 この規則は、豊田市美術館条例(平成7年条例第1号。以下「条例」という。)第15条の規定に基づき、豊田市美術館(以下「美術館」という。)の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館日及び開館時間)
第2条 美術館の開館日は、次に掲げる日を除く日とする。
(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たる日を除く。)

(2) 12月28日から翌年1月4日まで
2 美術館の開館時間は、午前10時から午後5時30分までとする。ただし、茶室にあっては、午前9時から午後9時までとする。
3 前項の規定にかかわらず、美術館が主催して展示する美術品等(条例第3条第1号に規定する美術品等をいう。以下同じ。)の展示会場(以下「展示会場」という。)へ入場できる時間(次項において「入場時間」という。)は、午前10時から午後5時までとする。
4 前3項の規定にかかわらず、教育委員会は、特に必要があると認めるときは、臨時に開館日、開館時間及び入場時間を変更することができる。

(観覧券の交付)
第3条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者(条例第4条各号に規定する者、第10条の規定により観覧料の全額を免除される者及び第11条に規定する優待券及び招待券により観覧しようとする者を除く。)は、観覧料の納付と引換えに豊田市美術館観覧券(様式第1号。以下「観覧券」という。)の交付を受けるものとする。

(観覧券の提示)
第4条 前条の規定により観覧券の交付を受けた者は、展示会場へ入場する際に当該観覧券を入口の係員に提示しなければならない。

(利用の手続)
第5条 条例第5条第1項の規定により施設の利用許可を受けようとする者又は同条第2項の規定により美術品等の利用許可を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、豊田市美術館利用許可申請書(様式第2号。以下「申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。
2 前項の場合において、条例第5条第2項の美術品等の利用の申請者は、利用しようとする美術品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得た書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得た書面をそれぞれ必要に応じて添付しなければならない。
3 申請者は、前2項の申請書その他必要な書面を別表第1に定める区分に従い同表に掲げる期間内に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(利用許可書の交付)
第6条 教育委員会は、利用を許可したときは、豊田市美術館利用許可書(様式第3号。以下「許可書」という。)を申請者に交付する。

(利用期間)
第7条 施設を引き続き利用することのできる期間(以下「利用期間」という。)は、12日間とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。
2 利用期間には、休館日を含めないものとする。

(利用の変更)
第8条 利用許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、許可書に記載された事項を変更しようとするときは、豊田市美術館利用変更許可申請書(様式第4号)に許可書を添えて教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。
2 教育委員会は、前項の規定により利用の変更を許可したときは、豊田市美術館利用変更許可書(様式第5号。以下「変更許可書」という。)を利用者に交付する。
3 前項の規定により利用の変更を許可された場合において、既納の使用料の額が変更後の使用料の額に対して不足額を生じるときは、利用者は、直ちに当該不足額を納入しなければならない。

(利用許可の取消し)
第9条 利用者は、許可の取消しを受けようとするときは、豊田市美術館利用許可取消申請書(様式第6号)に許可書又は変更許可書を添え

て、教育委員会に提出しなければならない。
2 教育委員会は、前項の規定により許可を取り消したときは、豊田市美術館利用許可取消通知書(様式第7号)を利用者に交付する。

(観覧料等の減免)
第10条 条例第9条の規定により観覧料及び使用料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。
(1) 中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒又は児童の引率者が美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

(2) 豊田加茂広域市町村圏内の高等学校又はこれに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒及びこれらの者の引率者が美術館の常設展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

(3) 豊田加茂広域市町村圏内に住所を有する者で次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けているもの及びその介添者が当該手帳を係員に提示し確認を受けて美術館の常設展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

ア 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項に規定する身体障害者手帳
イ 戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条に規定する戦傷病者手帳
ウ 厚生労働大臣の定めるところにより交付された療育手帳

(4) 豊田加茂広域市町村圏内に住所を有する者で次に掲げる証書のいずれかの交付を受けているものが当該証書を係員に提示し確認を受けて美術館の常設展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

ア 老人保健法施行規則(昭和58年厚生省令第2号)第5条に規定する医療受給者証
イ 市町村が実施する母子家庭等医療費支給事業において当該母子家庭等医療費の受給者に対し交付する受給者証
(5) 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事に施設を利用する場合 使用料の全額
(6) その他教育委員会が特別の事由があると認められた場合 その都度教育委員会が定める額

2 前項(第3号及び第4号を除く。)の規定により観覧料の減免を受けようとする者は観覧日の前7日までに豊田市美術館観覧料減免申請書(様式第8号)を、使用料の減免を受けようとする者は第5条第1項に規定する申請書の提出に併せて豊田市美術館使用料減免申請書(様式第9号)を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要ないと認めるときは、この限りでない。

3 教育委員会は、観覧料の減免申請を承認したときは豊田市美術館観覧料減免承認書(様式第10号)を、使用料の減免申請を承認したときは豊田市美術館使用料減免承認書(様式第11号)を交付する。

(優待券等)
第11条 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(観覧料等の還付)
第12条 条例第10条ただし書の規定による観覧料及び使用料の還付は、別表第2に定める基準によるものとする。

(利用責任者)
第13条 利用者は、美術館の施設及び美術品等の利用に係る規律を保持するため、あらかじめ利用責任者を定めておかななければならない。

(事前打合せ)
第14条 利用者は、事前に係員と使用方法その他必要な事項について打合せを行わなければならない。ただし、教育委員会が特に必要ないと認めるときは、この限りでない。

(利用後の届出等)
第15条 利用者は、利用が終わったときは、直ちにその旨を届け出て、係員の点検を受けなければならない。

(利用者の遵守事項)
第16条 利用者は、次に定める事項を守らなければならない。
(1) 利用許可を受けていない施設及びその附属設備並びに美術品等の利用をしないこと。

(2) 次各号に規定する行為をしないこと。

- (3) 施設の利用に当たっては、入場者の安全確保の措置を講じ、及び入場者に次条各号に規定する行為をさせないこと。
- (4) 美術品等の利用に当たっては、美術品等の保存に悪影響を与え、及び観覧者の観覧に支障を来す行為をしないこと。
- (5) 係員の指示に従うこと。

(入館者の遵守事項)

第17条 入館者は、次に定める事項を守らなければならない。

- (1) 施設及びその附属設備並びに美術品等を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をしないこと。
- (2) 図書閲覧室その他館内の所定の場所以外で図書、文献その他の閲覧等をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。
- (4) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (5) 他人に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (6) 許可を受けないで美術館内及び敷地内において物品を販売し、又は金品の募集等の行為をしないこと。
- (7) その他美術館の運営に支障を来す行為をしないこと。

(委任)

第18条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成7年11月11日（以下「施行日」という。）から施行する。

(準備行為)

- 2 この規則の規定に基づく利用許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

附 則（平成13年3月30日教委規則第1号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成15年3月28日教委規則第3号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

別表第1（第5条関係）

利用申請期間

利用区分	期 間
施設の利用	利用日の属する月が1月から3月までの場合 前年の1月5日から1月31日までの間
	利用日の属する月が4月から6月までの場合 前年の4月1日から4月30日までの間
	利用日の属する月が7月から9月までの場合 前年の7月1日から7月31日までの間
	利用日の属する月が10月から12月までの場合 前年の10月1日から10月31日までの間
茶 室	利用日の属する月の前12月から利用日の前7日までの間
美術品等の利用	利用日の属する月の前6月から利用日までの間

備考 引き続き2日以上利用しようとする場合の「利用日」とは、その最初の日をいう。

別表第2（第12条関係）

観覧料還付の基準

区 分	還 付 率
災害その他観覧料を納付した者の責めに帰することができない事由によって観覧ができなくなった場合	100%
その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合	その都度教育委員会が定める還付率

使用料還付の基準

区 分	還 付 率
災害その他利用者の責めに帰すことができない事由による取消し	100%
利用日前30日までに取消申請がなされた場合	90%
利用日前20日までに取消申請がなされた場合	60%
利用日前10日までに取消申請がなされた場合	30%
その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合	その都度教育委員会が定める還付金

- 昭和54(1979)年7月 市民意識調査で、市民の20%が美術館の建設を望む結果
- 59(1984)年3月 第4次豊田市総合計画(1984-1990)の文化施設整備で、(仮称)豊田市美術館の建設を発表
- 平成2(1990)年4月 (仮称)豊田市美術館構想委員会を設置
- 3(1991)年3月 (仮称)豊田市美術館構想委員会が(仮称)豊田市美術館構想を答申
- 4月 (仮称)豊田市美術館美術品収集委員会(平成6年8月に同選定委員会に改称)を設置
- 9月 (仮称)豊田市美術館・高橋節郎記念館基本計画を策定
- 4(1992)年3月 (仮称)豊田市美術館建設基本設計を策定
- 5(1993)年3月 (仮称)豊田市美術館建設実施設計を策定
- 6月 建設工事着工
- 10月 ヴェチカン美術館との友好交流提携に調印
- 6(1994)年6月 デトロイト美術館との友好交流提携に調印
- 7(1995)年3月 豊田市美術館条例公布
- 6月 建設工事竣工
- 11月 豊田市美術館開館
- 8(1996)年7月 入館者10万人を達成
- 11月 豊田市都市景観賞(主催:豊田市)
- 12月 サインデザイン準優秀賞(主催:(社)日本サインデザイン協会)
- 9(1997)年11月 入館者20万人を達成
- 11月 建築業協会賞(主催:(社)建築業協会)
- 10(1998)年2月 愛知まちなみ建築賞(主催:愛知県)
- 4月 博物館登録
- 12月 中部建築賞(主催:中部建築賞協議会)
- 11(1999)年5月 入館者30万人を達成
- 12(2000)年11月 公共建築賞(主催:(社)公共建築協会)
- 13(2001)年1月 入館者40万人を達成
- 13(2001)年12月 サインデザイン準優秀賞(主催:(社)日本サインデザイン協会)
- 12月 印刷出版研究所奨励賞(主催:印刷出版研究所)
- 14(2002)年3月 豊田市美術館モニターを設置
- 4月 豊田市美術館運営協議会を設置
- 10月 グッドデザイン賞(主催:(財)日本産業デザイン振興会)
- 12月 サインデザイン優秀賞(主催:(社)日本サインデザイン協会)
- 15(2003)年1月 入館者50万人を達成
- 16(2004)年6月 入館者60万人を達成

豊田市美術館年報No.9 (平成16年度)

2005年12月発行

編集・発行：豊田市美術館
〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1
Tel.0565-34-6610 (代表)

制作：東名印刷株式会社